

ゲーテ(左)とシルレル(右)



文學は各國の國語が出来てから著しく發達し、國民文學として見るべきものが續出するやうになつた。

イギリスのシェクスピア、ドイツのゲーテとシルレルとは世界の三大文豪として知られてゐる。

Goethe Schiller

◎啓蒙文學

十七世紀以來科學の發達するに従ひ、純理を以て舊來の因襲や一切の迷信・傳統を排斥し、その不合理な點を打破して、知識を要求するものの蒙を啓かうとする思潮が大いに興つた。さうしてフランス語とフランス文學とが、この運動の機關として用ひられたので、啓蒙文學者はフランスに輩出した。



モンテスキュー・ヴォルテール・ルソーは啓蒙文學の代表的大家である。モンテスキューは「萬法の精理」を著して、イギリス憲法の美を數稱し、三權(立法・行政・司法)分立の理想を説いて君主權

Montesquieu Voltaire Rousseau

三大啓蒙文學者

ルソー

リューベンスの繪



の制限に努め、ヴォルテールは輕妙な才筆を揮つて教會の腐敗、貴族僧侶の專横を非難し、ルソーは極端な自由平等論者で、「社會契約論」を著し、自由不平等な現社會を覆して、自由平等な舊態に復すべきを説いて、草進の氣運を盛ならしめた。

建築・彫刻・繪畫

◎美術 ミケランジェロの時代を以て極盛期に達した建築・彫刻は、この期間には著しい進歩を示さなかつた。しかし繪畫には、イスパニヤ・オランダなどに大家が出たので、一時隆盛を極めた。

イスパニヤのヴェラスケス・ムリリョ、オランダのリューベンス・ヴァンダイク・レンブラント

Velasquez

Murillo

Rubens

Van Dyck

Rembrandt

音樂

ベートヴェン



等はいづれも代表的の大家である。音樂にはモツァルト・ベートヴェン(共にドイツ人)が出て、各、大名を博した。

◎科學とその應用

コペルニクス(ポーランド人)が地動説を唱へて、天文學の新系統を開いたことは、

Copernicus

(ポーランド人)

經驗哲學

科學の應用

ベーコンの經驗を重んずる新學說と相俟つて、科學界は俄に活氣を呈し、長足の發展を遂げた。かく科學の發達するに従ひ、その應用もまた顯著となり、種々な發明が現れ、工業界の革新を促すと共に、益々人類の福祉を増進させるやうになつた。



十九世紀初頭の紡績機

たセルシウス(スウェーデン人)は氣溫計を、フランクリン(アメリカ人)は避雷針を、ワット(イギリス人)は蒸氣機關を、アークライト(イギリス人)は紡績機を、ジェンナー(イギリス人)は種痘法をそれぞれ發明した。

ガリレオ(イタリヤ人)は望遠鏡をつくつて天體を觀測し、ケプレル(ドイツ人)は天體諸星の運行に關する法則を定め、ニュートン(イギリス人)は引力の大法則を發見し、天文學者ラブラム(フランス人)は星雲說を以て天地の開闢を説明し、リンネ(スウェーデン人)は植物學に分類法を試みて大いに研究を簡便にした。この外ハーヴェイ(イギリス人)は血液循環の法を明かにし、ラヴォアジエール(フランス人)は近世化學の開祖と仰がれ、ラヴォアジエール(フランス人)は近世化學の開祖と仰がれ、ラヴォアジエール(フランス人)は近世化學の開祖と仰がれ、ラヴォアジエール(フランス人)は近世化學の開祖と仰がれ。

第四篇 近世史 (下) (十八世紀末より十九世紀末に至る)

近世史の後期は一七八九年のフランス革命から一八七八年のベルリン會議に至る八十九年間を含み、我が光格天皇の御代の初めから明治天皇の明治十一年に達し、支那では清朝高宗の末年から徳宗の初年に及んでゐる。この期の初めにフランス革命が起り、自由民權の説が諸方に蔓延したが、ウィーン會議は時流に抗して自由主義を抑へ、ヨーロッパを革命前の舊態に復したので、後各地に再び革命運動が勃發した。即ちギリシヤはトルコから、ベルギーはオランダから各獨立し、ドイツはイタリヤと共にオーストリアの勢力を驅逐してその統一を大成した。この間にイギリスは主力を海外植民地の營に盡し、ロシアは中央東部アジアの拓殖に努め、アメリカ合衆國は南北戰役後、國運の發展に意を注いで、いづれも多大の効果を齎した。文藝科學の進歩は本期の特色とするところで、一方科學の應用もまた盛大を極め、文化發展の上に偉大な貢獻をした。

第十一章 フランス革命

革命の意義

● 革命の意義とその原因 フランス革命は專制政治を打破し、封建

光格天皇の寛政元年

ルイ十六世の失政

的の弊政を矯正し、民主共和の思想と自由平等の大義とを天下に闡明してヨーロッパの世態を一變した大事件である。さうしてその勃發は政治的・社會的・思想的の原因に基づいてゐる。即ち優柔不斷で弊政の改革を斷行し得なかつた國王に對する民衆の反感、横暴を極めてゐた貴族・僧侶に對する中産階級の不滿、重税を負擔し、貴族・僧侶などに酷使されて悲惨な境遇に陥つてゐた職工・農民などの下層の平民等が中産階級と策應して、その窮狀を打開する爲に奮起したこと、モンテスキューやルソー等が盛に貴族・僧侶等の横暴を非難し、人權の自由平等を唱へて新思想を宣傳したこと、一部のフランス人はアメリカ合衆國が獨立して共和政治を實現したことに刺戟され、歴史・國情の相違を顧慮することなく、直に彼の國の制度を採用せんとした。こゝ等は革命の五遠因で、ルイ十六世の失政は實にその近因であつた。

●革命の發端、王政の廢止
一七九〇—一七九二
 ルイ十六世は紊亂した財政を整へる爲、
Louis XVI.
 貴族・僧侶・平民の三議員から成る三部會をヴェルサイユに召集した。と
States General

バスチーユの牢獄の破壊

新憲法批准

ころが平民議員は貴族・僧侶議員から離れ、別に國民議會を組織して、憲法の制定に着手した。後、王は武力で國民議會を抑へようとしたので、不平の暴民はバスチーユの牢獄を破つて、革命を起した。これから暴動は各所に起り、貴族・僧侶は續々國外に避難した。

やがて議會は「人權の宣言」を發表し、政治・司法・宗教上の大改革を斷行し、パリに幽閉中のルイ十六世に迫つて、國民議會で制定した立憲君主主義の新憲法を批准させた。
一七九一

革命といふ現象は外國史に屢見られるが、國史には全く認められない。従つて國王の刑戮など國史には在り得べからざる事柄である。これは彼我國體の根本的相違による。諸子は外國史を學んで、一層我國體の卓越せる所以を知らなければならぬ。
（一七九二頁の記事）

この時オーストリア・プロシヤ兩國は革命の波及を恐れ、聯合軍を編成して來り侵したので、新憲法に基いて召集された立法議會は急に軍兵を出してこれを撃退した。これから共和黨は益勢力を得、立法

第一回對フ
ランス大同
盟の成立

ロベスピエ
ールの暴政

一七九三
議會を解散し、新たに共和黨議員を主體とする國民集會を組織して、
王政の廢止と共和政治の成立を公にし、翌年ルイ十六世を弑した。
National Convention

⑤ 恐赫政治
Kingdom of Terror
フランスの革命宣傳と國王の處刑とによつて國の内

外は非常な衝動を受け、勤王黨は内亂を起したので、イギリスは第一
回の對佛大同盟（プロシヤ、オーストリア）をつくつてフランスの國境を壓し
た。過激黨のダントン・ロベスピエール等はまづ反對議員を殺し、全國
から徵集した軍兵（國民皆兵主義）を以て騒亂を鎮め、然る後前王妃マリ
ーアントアネット・ローラン夫人以下多數の人々を殺した。この間制度
上にも變革を加へ、共和曆をつくり、キリスト教を廢して道理崇拜の
教を創めた。その上ロベスピエールは頻りに殺戮を行つたので、世人
はこの時代を恐嚇時代といつた。
一七九三—一七九四

王妃マリーアントアネットはルイ十六世の刑戮後、王子王妹と共にタンブルの獄中に
あつて粗衣粗食に甘んじ、自ら掃灑の賤務を執り、かつ監守の冷酷な待遇に對して毫も
不滿の色を表さず、専心王子の身の上に留意してゐたにも拘らず、一七九三年八月二日

マリ
ー
ア
ン
ト
ア
ネ
ッ
ト

ナポレオン
の興起



以來ひとりセイヌ河の中洲にあるパリ―最悪の
コンシエルジュリー牢獄に移された。爾來七旬の間名
狀するに忍びない程陰慘な生活を経た後十月十
二日革命裁判所に於て死刑の宣告を受け、同十六
日革命宮苑に設けられた刑場に赴き從容として
瞑目した。時に年三十九であつた。

⑥ ナポレオンの興起
Napoleon Bonaparte
ナポレオンはロ

ベスピエールの殺害後に成立した都督政府の命を奉じて、まづオー
ストリヤを征し、エジプトを占領したが、イギリスが再び第二回の對
佛大同盟をつくつてフランスを侵さうとしたので、急に本國に歸つ
て政府を倒した。さうして新憲法を定め、都督を廢して自ら執政官と
なり、文武の大權を握つた。
Consul

ナポレオンはコルシカ島の西岸アジャチオに生れた。父を
Aaccio
テタルス・ス・ポナバルトと稱し、小貴族で法律家であつた。母をレチチヤラモリノと稱し、そ
Leticia Ramolino
の容貌の秀麗で志操の堅實な賢母といふことを以て有名であつた。ナポレオンに對す

レチチヤリ
ウモリノ



一七九六年イタリヤ軍の總督を拜命するに至つた。さうして出發にさきだち、彼はジョセフィーンと結婚した。

る家庭教育は極めて嚴肅で、彼の將來の榮達はその母の訓育に俟つところ最も多かつたのである。十歳でパリーの東南にあるブリエンヌの幼年學校に入學し、一七八四年更にパリーの士官學校に轉じ翌年業を卒へて砲兵少尉となり、中尉を経て一七九二年二十三歳で砲兵大尉となつた。革命中バラ將軍の信任を得て次第に出世し、遂に

Josephine

ナポレオンの内政の即位

⑤ **ナポレオン一世と英墺兩國との關係** ナポレオンは英、墺兩國がフランスの新政府を承認しないのを怒り、自らイタリヤに入り、墺軍を破つてこれと和し、ついでイギリスとも和議を約して小康を得た。ナポレオンはこの機を利用して内政を勵み、フランス銀行をパリに創立して財政を整へ、道路を改修して交通の便を圖り、ローマ舊教を再興し、教育を奨め、かつ有名なナポレオン法典を編成して歐洲諸國に於ける諸法典の基礎をつくつた。かくして國民大多數の投票で

Code Napoleon

① **皇帝の位に登り、ナポレオン一世と稱し、翌年イタリヤの王位をも兼ねた。**

明治四十三年七月我が國は新たに刑法治罪法を頒布した。これはフランス法律博士

ボアソナードが主としてナポレオン法典を參酌して起草したものであつた。

この時イギリスは第三回の對佛大同盟を組織してフランスに對抗したので、ナポレオン一世はイギリス侵入を企てたが、佛、西の聯合艦隊

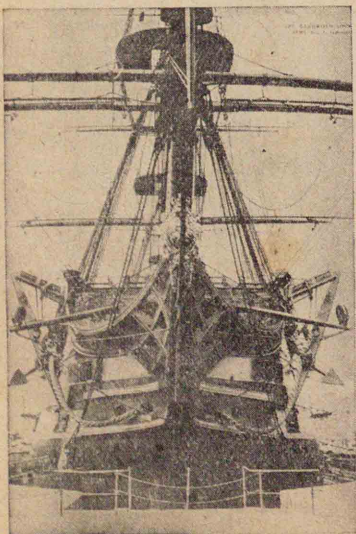
ネルソン(上)とヴィクトリー(下)



がネルソン提督によつてトラファルガル沖で破られたので、これを中止した。

一八〇五年十月二十一日正午英佛兩艦

隊の部署が定まると、ネルソン提督はヴィクトリーの橋上高くイギリス國は各兵が祖國の爲にその義務を實行せんことを希望



神聖ローマ
帝國の滅亡

プロシヤ征
伐
大陸封鎖令

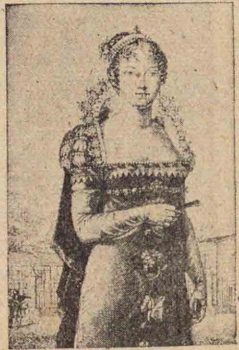
すといふ信號を掲げて、その意を各艦に通じ然る後壯烈な大海戦を演じた偶、ネルソン提督は敵艦レツタブルの後橋から發射した小銃弾によつて重創を蒙つたにも拘らず、なほその任務と責任との重大なことを忘れず、氣息奄々として將に死せんとするに臨み、その捷報を耳にして大いに喜び、上帝に拜謝す、余は己の任務を了せりと、遂に四十七歳を一期として壯烈な最期を遂げた。嗚呼、ネルソン提督は一身を犠牲に供したが、その赤心殉國の精神は炳として竹帛に遺され、永く仰慕されてゐる。

そこでナポレオン一世は兵鋒を東に轉じ、埃露の聯合軍を粉碎し、ついで西南ドイツの諸州をしてライン同盟をつくらせ、自らその保護者となつたので、神聖ローマ帝國は名實共に滅亡した。

⊗ ナポレオン一世の全盛 プロシヤは久しく中立を守つてゐたが、ナポレオンの侵略を憤り、ロシヤと同盟して宣戦した。そこでナポレオン一世は長驅してベルリンを陥れ、大陸封鎖令を出して、大陸諸國とイギリスとの通商を禁じ、ついで普露の聯合軍を破つて兩國とチルジットで和を結んだ。

ルイザはプロシヤ王フレデリック・ウィリアム三世の王妃で、プロシヤがナポレオン一世

プロシヤ王
妃ルイザ



の侵略によつて、建國以來の屈辱を蒙つたことを憤慨し悲壯な決意を以てナポレオン一世と會談してチルジットの講和條件の緩和に乗出した。不幸にもその目的は達成されなかつたが、國民は王妃の愛國的熱情と獻身的努力とに對し、衷心感謝の意を表し、景仰して措かなかつた。

ポルトガルの併合
イスパニヤの征服

ナポレオン
マリヤ・ル
イザと結婚す

その後ナポレオン一世は、ポルトガルが大陸封鎖令を守らないのを責めてその國を奪ひ、イスパニヤ國王父子を幽閉して王位を自分の兄に譲らせ、更にオーストリアを伐つてこれに勝ち、妃、ジョセフィンを離縁して同國の皇女マリヤ・ルイザと婚し、翌年ナポレオン二世をまうけ、家門の繁榮を圖つた。これからロシヤ征伐に至る數年間は、實に皇帝の全盛時代であつた。



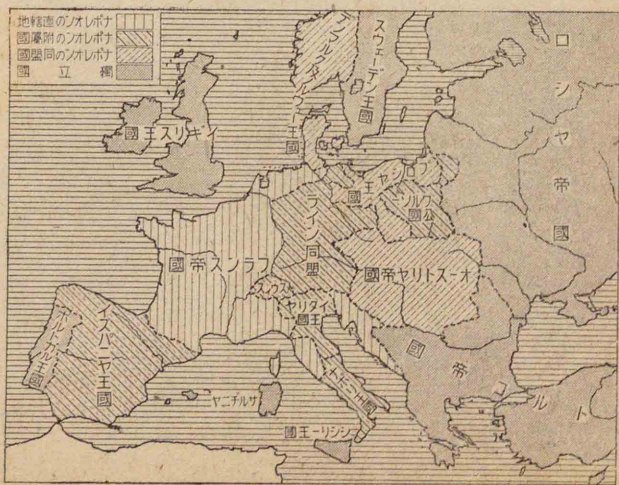
一八一二年
のヨーロッパ
の戦い

第四回対フ
ランス大同
盟

ナポレオン
の復位

ワテロ
の戦い

⑦ ナポレオン一世の退位と再舉 その後ロシアは大陸封鎖令に背いてイギリスと貿易を始めたので、ナポレオン一世はこれを攻め、一旦モスコを占領したが、不測の大火と糧食の缺乏とに悩まされて空しく敗退した。プロシヤはこの機に乗じて第四回対佛大同盟を組織し、大いにナポレオンの軍をライプチヒに破り、進んでフランスに入り、パリを陥れた。そこでナポレオン一世は帝位を辞してエルバ島に流されたが、やがて再舉を企ててパリに歸り、再び皇帝となつた。然るに帝は間もなくウエリントン將軍とワテロで戦ひ、大敗してセント・ヘレナ島に流され、ルイ十六世の弟ルイ十八世が位に即いた。



ウィーン
會議

さうして第二回のパリ條約で、フランスの境域を一七九二年の舊に復し、フランスは償金七億フランを出すことを約束した。

⑧ **ウィーン列國會議** 英・露・普・奧・佛五國の代表者等が結束し、ウィーンに召集した小國の代表者を抑へ、各國民の希望を顧慮せず、革命前の情勢に基いて、國土の分合を行ふことを協議決定した。

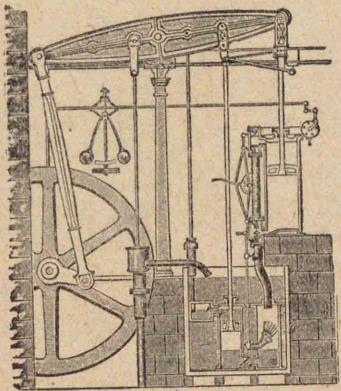
ウィーン條約の結果、オーストリアはネーデルランドを棄てて、イタリアの北部を、²ロシアはワルソー大公國の大部を、³プロシヤはサクソニアの北半を各得た。さうして、⁴ドイツの三十五州と四自由市とは、ドイツ聯邦を組織した。⁵イギリスはマルタ・ヘリゴランドの兩島と戰爭中に占領した植民地とを得、⁶スウェーデンはノルウェーを、⁷またオランダはネーデルランドを併せ、⁸スイスは新たに三州を加へて聯邦共和國をつくり、⁹イスパニヤ・ポルトガルなどの諸國は、各、その舊領を回復した。

⑨ **フランス革命の結果と産業革命の影響** フランス革命はかやうにして一段落がついた。これを要するに、この革命はブルボン家の壓制政治を排撃する爲に、自由、平等、友愛を目標として勃發したもので

自由主義國
民主主義の思
想

あつたが、その結果として、ブルボン家は復位し、ウィーン會議は革命によつて發生した自由主義や國民主義を排斥して、ヨーロッパを革命前の舊態に復することを眼目として協議決定された。従つて革命によつて何物をも遺さなかつたやうに思はれるが、實際はさやうではなかつた。即ちこの革命によつて、階級制度は打破され、法律の前には國民は平等となり、信教の自由は認められた。その上革命によつて養成された自由主義や國民主義の思想は依然として存在し、やがては保守主義や反動政治に對抗して、頑強に抗争を繼續し、遂に最後の勝利を占めるに至つた。

當時イギリスでは自然科学の進歩や、物質文明の發達、殊にワットが發明した蒸氣機關の應用によつて、家庭に於ける手工業は工場に於ける機械工業と化し、製鐵毛織物紡績業、石炭業等が顯著な發達を遂げたの



イギリスに
發生した産
業革命の影
響
ワットの發
明せる蒸氣
機關

で、産業・經濟組織に著しい變革を促進した。その結果十八世紀の後半から十九世紀の初めにかけて産業革命が行はれ、その影響がヨーロッパ大陸にも波及し、フランス革命と相俟つて社會上産業上に一大變革を與へ、多數の民衆は科學文明及び機械文明の惠澤に浴し、その福祉を増進することとなつた。

英・佛・獨などのヨーロッパの諸國では、強者たる王室が優越な實力を以て弱者たる一般民衆を威壓統制して、所謂霸道的の國家を創建した。この場合國民は王室に對して心服したものでなく、實力不足の爲に一時屈從したまでであつた。それで王室の暴政が極端になるか或は壓力が薄弱となるかの場合には、民衆は屢、結束して革命を起し、王統を顛覆するに至つた。イギリスに勃發した一六四九年チャールズ一世時代の革命、一六八八年の名譽革命の如き、或はフランスに起つた一七八九年の大革命、一八三〇年の七月革命、一八四八年の二月革命の如きは、その顯著な實例であつた。

支那では仁徳ある者が天子となり、天帝の命を奉じて仁政を施すのである。従つて霸道國家の場合の如く、力を以て統制の本義とせず、仁政を布いて治國

平天下を具現するのである。

我が國は天祖の神勅に基いて、萬世一系の天皇の「しろしめす」神國で、三種の神器によつて治國の要道を垂れ給うた。さうして我等臣民は皇室を宗家と仰ぐ一家族の延長で、實に家族的國家の特長を發揮したものである。従つて皇室と臣民との關係は極めて親密で、所謂義は君臣にして情は父子を兼ねるものである。

かやうに歴代の皇室は親心を以て天下に君臨し、民衆は子心を以て皇室に奉仕してゐるのが、我が國家の王道國家及び霸道國家と異なるところである。

第十二章 自由主義及び國民主義の發展

(一) 神聖同盟と反動政治時代

神聖同盟の趣旨

● 神聖同盟 Holy Alliance
ウィーン會議の後、ロシア皇帝アレクサンドル一世はオーストリアプロシヤ兩國の君主と神聖同盟を組織し、キリスト教の主義に基いて、各國が互に相親しみ相愛して、永久の平和を維持しようとして提唱した。さうしてヨーロッパの諸國（イギリス、トルコ兩國を除く）は概ねこれ

メッテルニヒ

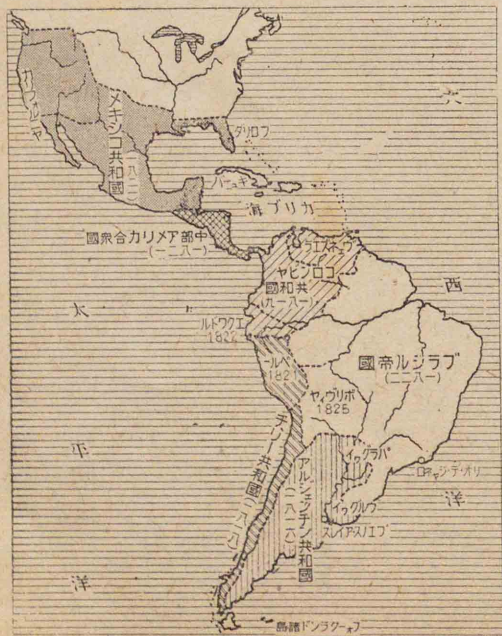


に加盟したが、中でもオーストリアの宰相メッテルニヒはこの同盟を利用し、ドイツ、イタリア、ポーランドなどに起つた自由主義と國民主義との運動を抑へて、専制政治を行ふ方便とした。これを反動政治時代（一八一五年から一八三〇年頃まで）といふ。

イスパニヤ植民地の獨立

南・北アメリカに於けるイスパニヤ・ポルトガル兩植民地圖

● アメリカ諸國の獨立
北アメリカにあつたイスパニヤの植民地は、本國の植民政策に不満を抱き、ナポレオン時代に既に叛旗を翻してゐたが、ウィーン會議後は遂に獨立して、アルゼンチン、チリ、コロンビヤ、メキシコなどの共和國をはじめた。ついでポ



メッテルニ
ヒの干渉

モンロー

モンロー教
書を公にす

ルトガル領のブラジルもまた獨立した。メッテルニヒはかやうな運動は神聖同盟の趣旨に背くものであると唱へ、武力でこれを抑へようとしたが、イギリスと合衆國大統領モンローとがこれに反對した。中



でもモンローは向後、アメリカ大陸の事に武力干渉するものがあれば、それは合衆國の平和を害するものであるから、あくまで抗爭する旨を公にした。これが即ちモンロー主義で、さすがのメッテルニヒも遂に屈して、諸植民地の獨立を認めるに至つた。これから神聖同盟の威望もまた失墜した。

● **ギリシヤの獨立** ギリシヤは人種と宗教とを異にしてゐるトルコの束縛を脱しようとして、叛旗を翻したが、トルコはエジプト太守の援を得て殆どこれを平げた。ところがかねて野心を抱いてゐたロシアは、神聖同盟の主義に背き、英佛兩國と同盟してギリシヤを援け、遂にその獨立を承認させた。

(二) 國民主義諸國家の隆昌とその國民性

當時ヨーロッパには大小幾多の獨立國家が存在してゐたが、その中英佛西の三國はいづれもその國內で同一の血族言語思想、乃至傳統歴史を有する國民主義的の國家であつた。これに反して獨伊普奧露等の諸國は異種雑多な民族を抱擁する國家で、未だ鞏固な國民主義的の國家を形成してゐなかつた。然るにその後フランスに勃發した七月革命及び二月革命は保守主義を破つて反動政治を一掃し、ヨーロッパの各方面に自由統一の思想を宣傳したので、イタリヤ、ドイツなどの諸國は相前後して鞏固な國民主義的の國家を創建するに至つたのである。

(a) フランス

● **七月革命** フランスでは、ルイ十八世の後に即位した王弟チャールス十世は保守専制政治を行ひ、恣に議會を解散し、かつ言論や出版の

チャールス
十世の暴政

チャールス十世の玉璽



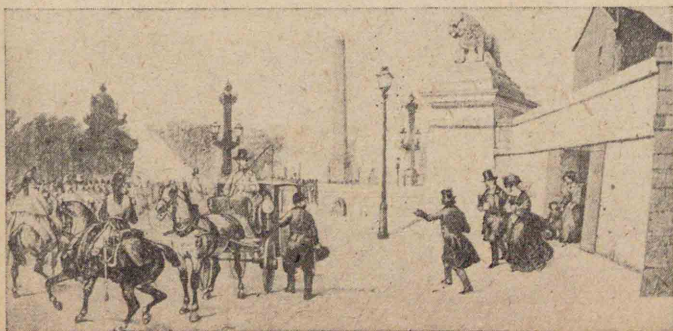
自由をも束縛した。そこでパリ市民は憤激して革命を起し、國王をイギリスに出奔させ、王族ルイ・フィリップを迎へて「フランス國民の王」とした。これを七月革命といふ。

七月十八日、パリ市民は憤激して革命を起し、國王をイギリスに出奔させ、王族ルイ・フィリップを迎へて「フランス國民の王」とした。これを七月革命といふ。

ルイ・フィリップの王宮脱出

七月革命の影響はベルギー、ポランド、ドイツ、イタリアなどの諸國に波及して、各所に自由獨立の運動を起させた。中でも多年オランダに對して不滿を抱いてゐたベルギー人は兵を擧げ、オランダ軍を破つて獨立を宣言した。列強はやがてロンドンに會してこれを認め、かつ永世局外中立國たることを保證した。しかしその他の諸地方に於ける革命運動は概ね失敗に終つた。

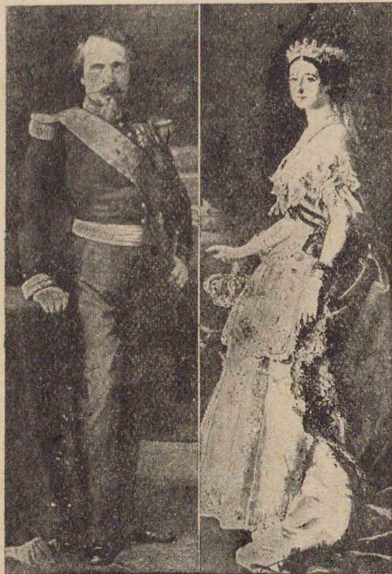
二月革命 ルイ・フィリップは、初め善政を施したが、ギゾーを用ひて保守專制政治を行つてから、民心が全く離反した。そこで一部の人民はパリ



第二共和政治の成立

ナポレオン三世の即位

ナポレオン三世と皇后



に暴動を起し、國王をイギリスに奔らせ、後、共和政治を再興した。これを二月革命といふ。ついで新憲法を制定し、ナポレオン一世の甥ルイ・ナポレオンを選んで大統領とした。

革命破裂の報知が四方に傳はるとオーストリアではウィーンで暴動が起つて、メッテルニヒはイギリスに奔り、皇帝フェルディナンド一世は位をフランシス・ジョセフに譲つた。またホンガリア、プロシヤ、イタリアなどの諸國でも相前後して革命運動が起つたが、いづれも成功しなかつた。しかし自由統一の思想は、一般民衆の間に次第に濃厚となつて來た。

ナポレオン三世の外征と内治
大統領ルイ・ナポレオンは武力で反對黨を抑へて、帝政を再興し、ナポレオン三世と稱した。帝は露土兩國の間に行はれたクリミア戦役に干涉し、イギリス・サルヂニヤと同盟してトルコを援け、セバ

約
パ
リ
ー
の
和

一八五五
ストポール要塞(クリミア半島にある)を圍んでこれを陥れた。さうして一八五七
Sebastopol
和を結び、ロシアの南侵を阻止したので、ナポレオン三世の威名は大いに揚つた。

英人ナイチンゲール嬢が三十八人の看護婦を統率してスクタリの病院に來着したのは、クリミア戦役中のインケルマン戦後間もない時であつた。この役(一八五四年十一月五日)英佛土三國の聯合軍は露軍を撃破したが多大の損害を蒙り、スクタリ病院に入院したイギリスの傷病兵のみでも實に八千人に達した。ナイチンゲール嬢は非常に熱心にかつ親切にかかる多數の傷病兵を看護して多大の効果を齎した。嬢は病院に於ける衛生設備の不



完全なることが死亡率激増の主要原因であることを發見して、これが改善にも努めた。後年デュナン(スウイ)はソルフエリノ戦役(イタリヤ統)後の負傷者の慘狀に刺戟され、嬢の意志を繼いで努力した結果、遂に赤十字社が創立されたのである。

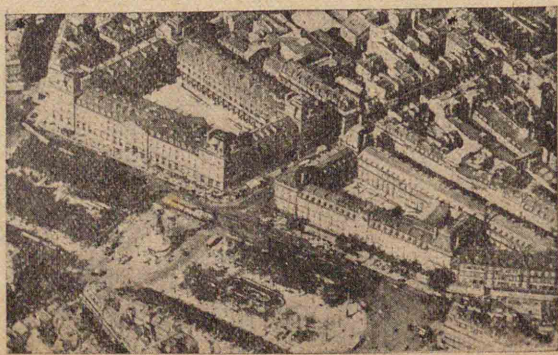
ナポレオン三世は戦後の經營に努めたので、工場工業は漸く勃興し、諸外國との通商貿易もまた著しく發達した。その上、パリーリオン Lyons

傷病兵を看護するナイチンゲール

ナポレオン三世の市區改正に基いて發達したパリーリの鳥瞰圖

マルセイユなどの市區に大改正を加へ、これに文化的の設備を施したので、都會の面目を一新した。就中パリーに於ける前後二回の世界大博覽會は、フランス文化を廣く世界の各方面に宣傳することにも役立つた。

然るに一八七〇一八七〇年プロシヤフランス戰役で、ナポレオン三世が大敗した爲、帝政は倒れたが、行政長官チエールの盡力で秩序は回復し、多額の償金をも皆済することが出來た。共和政體の成立後、國民の努力でその基礎は漸く安定し、産業は著しく發展し、その富力は實に驚くべきものがあつた。そこで政府は海外に植民地を開拓し、またドイツに對抗する爲に、軍備の充實をも斷行した。



メキシコ共和國は多年黨の軋轢と、財政の窮乏とに苦しめられて、一時外債利子の支

拂を中止したそこで英佛西の三國は各兵を出してこれを責め遂にメキシコに利子の支拂を約束させた。ナポレオン三世はこの機會にメキシコを征し、その共和政を廢して舊教を奉ずるラテン帝國を創立した。しかし間もなくモンロー主義を堅持するアメリカ合衆國の強硬な抗議を受けてその兵を撤退したので、帝政は忽ち倒れ、ナポレオン三世の聲望は全く地に墜ちた。

フランスの國民性

國民は快活陽氣で、明哲な理解力を有し、かつ社交的で同情心が深い。意志は相當に強く、貯蓄心が盛であるが、強烈な感情を制することが出来ないから、屢々革命など急激な事を起すことがある。しかし一旦非常時に際すると、その愛國的精神が猛然として發揮される。

(b) イギリス

① 憲法政治の改善 イギリスはヨーロッパで立憲政治の最も早く發達した國で、トリーリ黨(後の保守黨)とホイッグ黨(後の自由黨)とが對立して、下院で多數を制するものが責任内閣をつくり、憲政の運用は頗る巧妙を極めてゐた。しかし多年の因襲で各種の弊害がその間に生じ、殊に

選舉區の奇觀

選舉法改正案の通過

選舉區改正の如きは、最も必要なことであつた。蓋し産業革命以來鐵石炭を多く産出する地方に各種の大工場が創設され農民の離村、工場都市集中の傾向は著しかつたに拘らず、これ等新興の大都市からは一名の代表者をも出さなかつたからである。

かやうに選舉區の改正は焦眉の急務であつたので、グレイ伯は輿論の後援を待み、貴族大地主等の反對を押し切つて、1832年選舉法改正案を提出した。この案は多少の修正を加へた後兩院を通過したので、州郡都市はいづれも代議士を選出し、從來威力を逞うした貴族や大地主は勢を失ひ、商工業に従事する資本家乃至中産階級がこれに代つて實權を握るやうになり、政治上の面目は一新された。

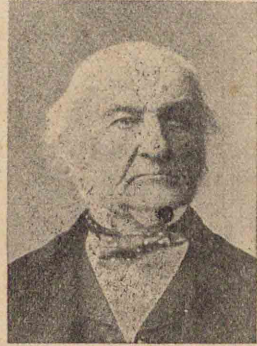
② その他の諸改革 これよりさき、イギリスとアイルランドとの議會は合併されたが、アイルランド人の大半は舊教信者である爲に、イギリスの官吏や國會議員にはなれなかつた。然るにウェリントン内閣の時、1829年舊教徒釋放法案が議會を通過したので、この制限は撤廢された。

舊教徒釋放法案の通過

またグレイン内閣の時に奴隷も廢止され穀價の低落を防ぐ爲につくられた穀物法だけはなほ存して労働者を苦しめてゐた。幸にヴィクトリヤ女王の時にその廢止案が議會を通過したので、ビール内閣は穀物法を廢してその輸入税を免除し、ついで貿易の自由を制限してゐた航海條例もまた廢止されたので、イギリスは完全に自由貿易國となつた。

●國運の隆盛

一八三〇—一八六〇
ヴィクトリヤ女王
Victoria



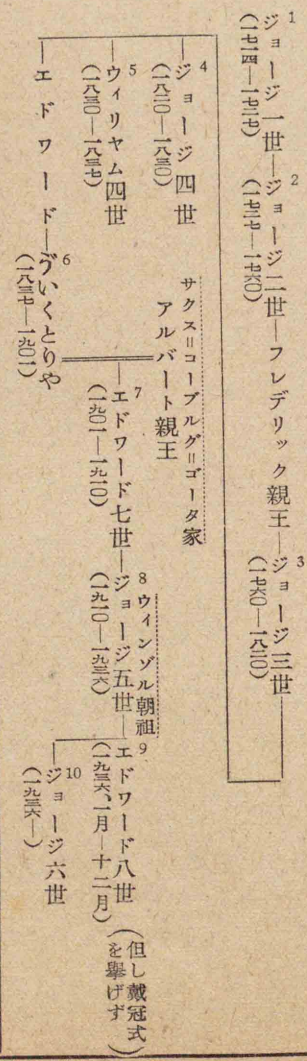
時代で、自由黨のグラッドストーン・ロトズベリー、保守黨のヂスレーリ、ソールズベリー等の大政治家が交、内閣を組織し、民意を尊重して熱心に政治を勵み、殖産貿易の發展に努めたので、企業熱は勃興し、國運は隆昌を極めて、一大商工業國と化した。その上海軍の優越、社會改善など、大いに見るべきものがあつたので、歐米諸國は概ね範をこの國に求めるやうになつた。國民は概して氣品が高く、冷靜で、常識が發達して、忍耐力が強いが、保守的で活潑進取の氣概と健闘的精神とを缺いてゐる。

グラッドストーン

ヴィクトリヤ女王の治世

イギリスの國民性

ハプスブルグ及びウィンゾル朝の王系



(c) イタリヤ

●イタリヤ王國の創設



サルヂニヤ王とカヴール
ヴィクトル・エマニエール二世

サルヂニヤ王ヴィクトル・エマニエール二世は、イタリヤが久しく分裂してゐるのを遺憾とし、賢相カヴールを用ひて政治を勵み、軍備を整へ、産業を盛にし、鐵道を布設して夙夜國力の充實に努めた。その後國王はナポレオン三世の援助を得てオーストリヤを討つてこれを破り、ロン

中部諸小國の併合

カヴール

ナポリ王國併合

イタリア王國の創建

ヴェニスとローマ法王領との占領

イタリアの國民性



を統一した。そこでヴェイクトル・エマニュエル二世はイタリア國王の位に即き、ついで國都をフロレンスに遷した。

① 國土の統一 その後國王はプロシヤ・オーストリア戰役に、プロシヤを援けてオーストリアからヴェニスを取り、ついでフランスの駐屯軍が本國に歸還した機會にローマを占領して、法王領の殆ど全部を併せ、都をここに遷して、統一の業を完成した。國民は强健活潑で情熱的であるが、イギ



ビスマルク



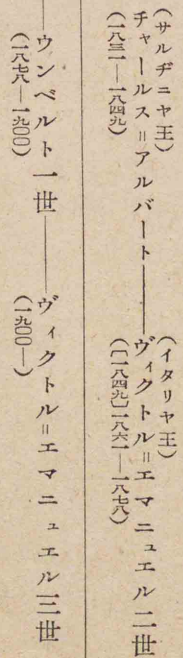
リス人のやうに冷靜沈着でなく、またドイツ人のやうに堅忍不拔でもない。彼等は偉人指導の下に奮勵努力して、國力の發展と國民生活の向上とに進じてゐる。

(d) ドイツ

① ウィリヤム一世と北ドイツ聯邦の建設

ウィリヤム一世は即位以來、夙にオーストリアを聯邦外に驅逐して、ドイツの統一を大成しようとし、ビスマルクを宰相に、モルトケを參謀總長に任じ、衆議を排して軍備の擴張充實を斷行した。偶々ウィリヤム一世はデンマルク國王がシュレス

サヴォイ家の王系



プロシヤ
オースト
リヤ戦役

慶應三年
明治大
皇踐
天
政奉
還

ウイヒを自國に併せたことを責めてこれに宣戦し、オーストリアと共にその軍を破り、遂にシュレスウイヒ以下の地を得て講和した。

プロシヤはこれ等の土地の處分や統治に關して、オーストリアと意見を異にしたので、まづイタリヤと同盟し、然る後にオーストリアと戦つてこれに勝ち、前記の土地を領有した外、オーストリアをして聯邦解散を認めさせ、またマイン河北の諸國と共に新たに北ドイツ聯邦を組織し、自らその盟主となり、ついで聯邦の憲法を定め、更に南ドイツの四王國とも秘密に同盟を結んでフランスに備へた。

プロシヤオーストリア戦役後、オーストリアはホンガリヤ王國の建設を許し、國號をオーストリアホンガリヤと改稱し、オーストリア皇帝は同時にホンガリヤの王位をも兼ねた。

ウイリヤム一世とドイツ帝國の創設 フランスはプロシヤオーストリア戦役後、プロシヤ國運の隆昌を嫉み、一方ドイツの宰相ビスマルクはドイツの統一を完成する爲には、フランスと戦ふことが必要

明治四年
この年
藩置

ウイリヤム
一世の即位

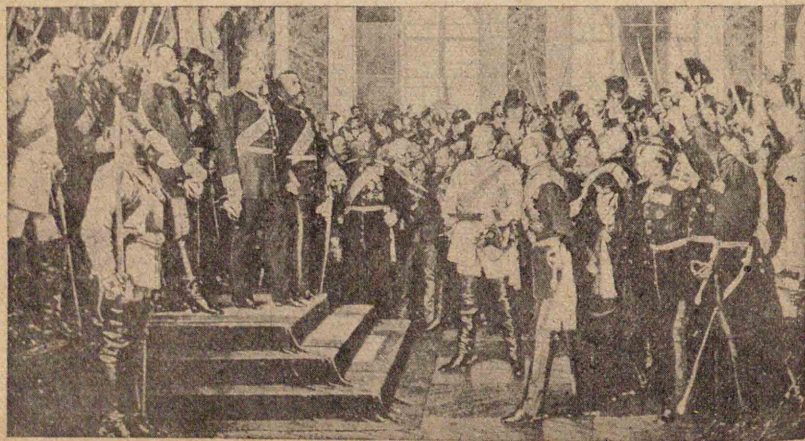
ヴェルサイユ宮殿に於けるウイリヤム一世即位式舉行の光景

新憲法の制定

であると思つてゐたので、兩國の關係は次第に切迫した。偶、イスパニヤ王位繼承問題を機として、兩國は遂に戦を交へたが、プロシヤ軍は破竹の勢でフランス軍を粉碎し、長驅バリイを陥れてヴェルサイユで講和した。

ヴェルサイユ條約でプロシヤはフランスからエルザス・ロートリンゲンを取り、かつ償金五十億フランを支拂ふことを約束させた。

この戦役中にドイツ統一の議が熟したので、プロシヤ國王ウイリヤム一世は國民の希望を容れ、^{八月、一月}ヴェルサイユ宮殿でドイツ帝國の再興を公にして皇帝の位に即き、ついで聯邦の憲法によりプロシヤ國

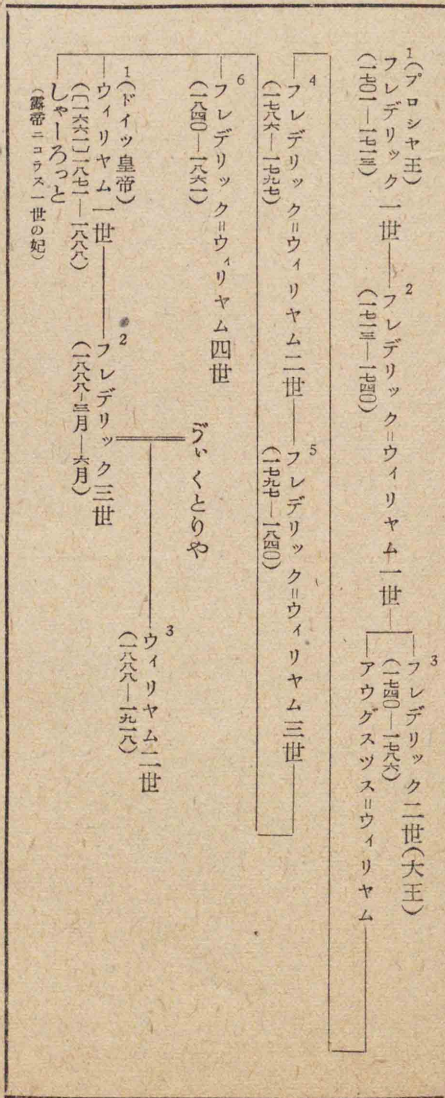


王はドイツ皇帝の位を世襲することとなつた。

●國運の隆昌 ウィリヤム一世は、宰相ビスマルクの輔佐を得て、戦後の經營に努め、農工商業を奨めたので、木綿工業、化學工業、製鐵製鋼工業等は非常に發達した。やがてアフリカ及び大洋洲に植民地を開いて大いに國力を増進した。帝の歿後、嫡孫ウィリヤム二世は夙に軍國主義を唱へ、物質文明を奨めて國力の充實を圖つたので國運は更に隆昌に向つた。

國民は意志が極めて堅く、かつ義務に忠實で不撓不屈の氣象に富み、毫も他人に依頼することなく、飽くまで獨立獨行を信念としてゐる。やや驕慢の嫌はあるが、執着心が強く、その計畫には一定の方式と順序と規律とが備はつてゐるから、萬難を排しても必ず大成するまで勇往邁進してゐる。

ホーエンツォルレン朝略系



(e) ロシヤとバルカン半島

●アレクサンドル二世とトルコ ロシヤ皇帝アレクサンドル二世は勵精治を圖り、農奴を解放し、地方制度を改め、力めて温和な政治を行つたが、ポーランドがロシヤに對して叛亂を企ててから、その方針を變じて専制政治を行ひ、ついでトルコに内政の改革を迫つて容れられなかつたので、宣戰(露土戰役)した。さうしてトルコ軍を粉砕した後、ベ

アレクサン
ドル二世の
治世

ドイツの國
民性

ルリン條約を締結して講和した。

ベルリン條約の内容は、モンテネグロ、セルビア及びルーマニア三國の獨立、ブルガリヤをトルコに朝貢すべき自治國とする、ボスニア、ヘルツェゴヴィナの行政權をオーストリアに委託する、トルコ領内に於ける信教の自由を公認することなどである。

皇帝アレクサンドル二世は戦後なほ専制政治を行つて人望を失ひ、遂に虚無黨員の爆彈に罹つて悲惨な最期を遂げた。

②アレクサンドル三世、ニコラス

二世 アレクサンドル二世の後

を繼承したアレクサンドル三世

もまた獨裁政治を行ひ、スラヴ國

家主義を唱へて國內の全人民を

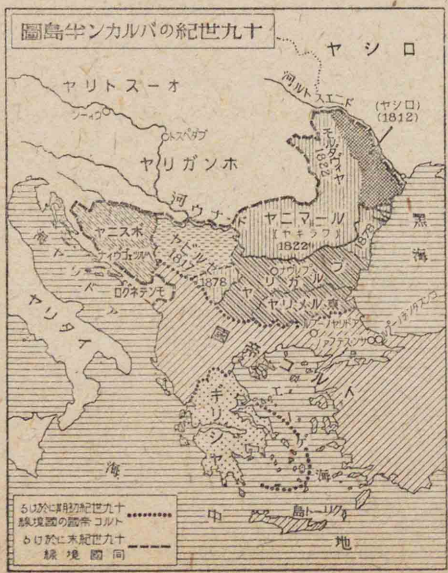
露化することに努めた。次帝ニコ

ラス二世も依然専制獨裁政治を

行ひ、露化政策の實現と、異教の排

Kussification

アレクサン
ドル三世と
ニコラス二
世の治世



ロシアの國
民性

斥とに努めた。帝は藏相ウイッテを信任して、極端な保護政策を行ひ、各種の産業を奨め、シベリア鐵道を完成して極東の經營を進め、遂に我が國と交戦して大敗を蒙つたので、從來の獨裁政治を廢して立憲帝政とした。しかし政府と議會との間に衝突が絶えず、國運の前途は必ずしも樂觀を許さない状態であつた。

國民は氣候風土の影響と多年の壓制との結果、概して沈鬱感傷的で、霸氣に乏しく、鈍重で寛裕暢達ウヤウヤの性格を缺いてゐる。従つて國民は依然専制政治の下に苦しみつつ、生活の安定を得ることに汲々としてゐる。

③バルカン半島の状態

バルカン半島では、トルコ、ギリシヤの外、新たにモンテネグロ、セルビア、ルーマニア、ブルガリヤの四國もまた獨立した。さうしてトルコ皇帝アブズルアミド二世は依然として専制政治を行ひ、かつキリスト教徒を迫害したので、紛擾は常に絶えず、半島の風雲もまた暗澹たるものがあつた。

アブズル
アミド二世
の治世

(f) アメリカ合衆國

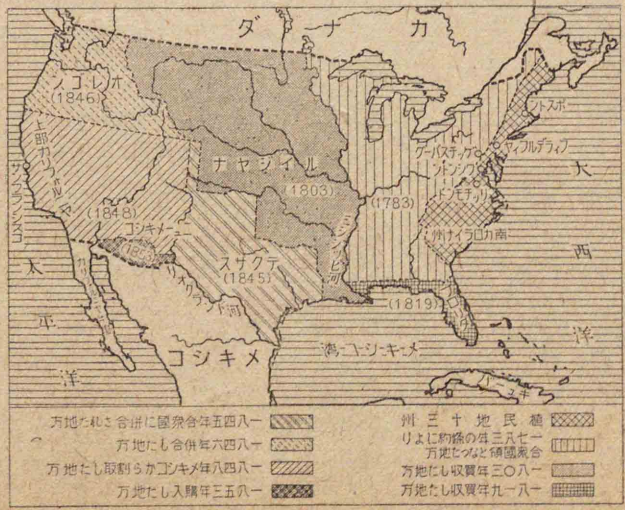
● 版圖の膨脹と南北戦役 アメリカ合衆國は建國以來國運は隆々として發展し、フランスからはルイジアナを、イスペインからはフロ

合衆國の版圖擴張と南北戦役圖

經濟・社會上の衝突

奴隸存廢問題
リンカーンの大統領當選

リダを購ひ、更にテキサスの地を併せ、メキシコと戦つてニューメキシコ、上部カリフォルニアを取り、その領域は遂に太平洋岸に達した。やがて工業を主とする北部と農業を主とする南部との間に、政治・經濟上の利害を異にしたが、更に奴隸の存廢に關してもまた意見を異にした。偶、この時奴隸廢止論者たるリンカーンが大統領に選舉されたので、南北戦役が起つたが、結局北軍が南軍を破つ



て最後の勝利を占めた。

初め南軍は優勢であつたが、北軍の總督グラントの指揮その宜しきを得たこと、その艦隊が南部諸州の要港を封鎖し、農産物の輸出を妨げて南軍が軍資を得る路を斷つたこと、大統領リンカーンが奴隸を解放したことなどで、北軍は到る所で勝ち、リッチモンドの陥落後、南軍の總督リーを降して終を告げた。



奴隸存廢問題が南北諸州の間に盛に論議されつつあつた時、ストーリー夫人は逃亡せる奴隸を救助することを骨子とした「トム叔父さんの小屋」と題する一書を一八五二年に

公刊した。さうして多數の奴隸が極めて陰慘悲痛の窮境に陥つてゐる實狀を、流麗な筆致を以て明快に記述したので、多數の讀者の間に奴隸廢止の必要を痛感させるやうになつた。

● 國運の隆昌

リンカーンは不幸にも暗殺

リンカーンの暗殺



ストーリー夫人

リンカーン

されたが、その後を承けたジョンソン・グラント以下の歴代の大統領は、熱心に戦後の經營とその再建reconstructionとに努め、奴隷を解放して自由民に編入したので、南北は完全に合一して國基は確立した。その上北部の諸州には各種の工業が起り、西部地方には白人の移住が激増して、金銀、鐵、石炭、石油等の採掘、棉花の栽培などは益々大規模となつて、天然の資源は開發された。この間に幾多の横斷鐵道もまた敷設されて交通機關が發達したので、穀物、棉花、大豆などの農産物も大量に産出し、文化は開け、國運は隆昌を極めるに至つた。

かやうに文化の進展するに伴ひ、教育もまた刷新され、大學、中學等が創立され、男女の共學は認められた。さうしてロングフェローやエマソン等の文士によつて創作された國民文學は、バンククロフト等の歴史家の編纂に係る米國史と相俟つて國民の意氣とその自覺とを促進するに役立つた。

國人は自主獨立の精神と活潑進取の氣象とに富み、何事にも世界

アメリカ合衆國の國民性と其の抱負

第一主義を以て勇往邁進し、夙に物質萬能主義を唱へ、新奇を好んで舊物を破壊することを意としない。國際的にはモンロー主義と汎米主義とを併せ唱へ、南北アメリカ大陸の諸國を壓迫して、ヨーロッパの勢力を驅逐することに努め、同時に帝國主義を高唱し、優勢な大海軍を以て太平洋進出を策し、永く霸を世界に稱へようとしてゐる。

(三) 近世の國家社會とその文化

近世文化の二大特色

● 國家及び社會 近世文化の二大特色は、自由主義の發展と物質文明の顯著な進歩とである。自由主義發展の結果として、十九世紀の後半には歐洲の諸國は概ね立憲政治を採用して、憲法を制定し、國會を開いて民意の暢達を圖つてゐた。しかし國際間の競争が次第に激烈となつたので、國民は協同して祖國の名譽と利益とを擁護する爲に、個人の利益を犠牲にする新傾向を生じ、遂に國家主義を促すやうになつた。

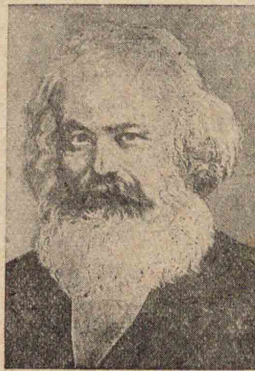
國家主義の擡頭

科學の發達とその應用

勞働問題

社會主義

カール・マルクス



次に物質文化の進歩は科學の發達を促し、更に科學が各方面に應用されて、産業革命を招來し、その結果として、都市・村落の面目を一新したこともまた著しい現象である。然るに歲月を経るに従ひ、工場を經營する大資本家即ち有産階級と、工場で使役される多數の勞働者即ち無産階級との間に、一種の階級的闘争を起すやうになつた。所謂 *Proletariat* 勞働問題及び社會問題はかやうにして發生したのである。

社會主義は十九世紀に入つてから、イギリスのロバート・オーウェン、フランスのサン・シモン、ルイ・ブラン、ドイツのカール・マルクス等によつて唱へられたが、その説は或は空想に走り、或は物質に偏して、各國の國情や歴史を無視したものが多く、實行することが困難であるばかりでなく、また決して人類の幸福を招來する所以でもない。勞資の關係は二者共に協調を圖り、共存共榮の實を擧ぐるの外はないので、ロシヤを除く各國

社會政策の實施

哲學

文學

政府は穩健な社會政策を施して國民の幸福を増進することに努めてゐる。

● 哲學と文學 哲學の研究はドイツが最も發達し、中でもカントは近世哲學の開祖と仰がれ、その後フイヒテ・ヘーゲル等が出ていづれも大名を博した。次に純文學の方面では、冷靜な理性を無視して清新な氣分と強烈な感情との横溢したロマチック派の新思想が十九世紀の前半を風靡してゐたが、その後半になつて、自然科学の進歩と共に、描寫の精緻を尙ぶ自然主義がこれに代つた。

バイロン・テニソン (共にイギリス人)

Naturalism

ヘイネ (ドイツ人) は詩壇の巨擘として、

カーライル、マコーレー、カーライル、マコーレー

ラスキン (以上イギリス人) は文藝評論家として、トルストイ (ロシア人)

モーロー (フランス人) は共に小説家として、ゾラ (フランス人) は自然主義者としていづれも大名を博した。

次にランケ (ドイツ人) は歴史に科學的研究法を應用して史界を一新し、ギゾー (フランス人)、フリーマン

Ranké, Guizot, Freeman

史學

ランケ



美術

(イギリス)と共に盛名を恣にした。さうして美術もまた文學とほぼ同一の進歩を遂げた。

シンケル(ドイツ人)・ガルニエー(フランス人)は建築の名匠として、トルワルドゼン(デンク人)・シャドー(ドイツ人)は彫刻の大家として、グヴィード(フランス人)・ミレー(フランス人)・ターナー(イギリス人)はSchadow David Millet Turner 繪畫の大家としていづれも著れてゐる。



ダーウイン
マイエルの
勢力不滅説

ダーウイン
の「種源論」

科学 十八世紀に曙光を放つた科學は十九世紀に入つて更に長足の進歩を遂げた。即ちルヴリエー(フランス人)は海王星を發見し、マイエル(イギリス人)は勢力不滅説を確立し、フラーデー(イギリス人)は電磁氣學を創め、リービヒ(ドイツ人)は有機化學に一新生面を開いて農藝化學の祖となり、ラマルク(フランス人)はまづ進化論を唱へ、ダーウイン(イギリス人)は「種源論」を公にして進化論の學說を大成し、生物學の發展を促した。Darwin Origin of Species 晩近になつて、リンデ(ドイツ人)・デュアー(イギリス人)の二人は熱心な研究によ

ラヂウムの
發見

キュリー
夫人



つて從來永久瓦斯と想定されてゐた酸素や水素などを液化し得ることを發見し、レントゲン(ドイツ人)はX線を發見し、爾來この線は各種の方面に應用され、特に醫學の進歩を促した。キュリー夫妻(フランス人)はラヂウムを發見し、原子が電子から成立つてゐることを確めて、物質觀に大變動を與へた。Röntgen Curie Radium

マリイはポーランドの首府ワルソーに生れ、パリイ大學に學び一八九五年結婚してキュリー夫人となつた。夫ピエールと協力して放射性物質を研究し始めラヂウムをついでポロニウムを發見した。一九〇三年夫と共にノーベル物理學賞を一九一一年單獨でノーベル化學賞を受領した。夫の歿後(一九〇六年)更に研究を續行し、一九一九年ワルソー大學教授となつて、その研究と指導とに従事してゐた(一九三四年歿)。

醫學もまた近時非帝に發達し、斬新な治療法が施され、人生の幸福を増進するやうになつた。

この外、人類學、地理學の諸研究が行はれ、中でも地理的探檢熱は近

地理學

醫學

時漸く盛となつた。

リヒトホーフェン(ドイツ人) Richthofen



は東洋探検を率ゐて支那の地質を研究し、スヴェンヘゲン(スウェーデン人)は中央アジア地方に大旅行を試み、またノルデンシエ(スウェーデン人)はシベリヤの北岸を迂廻して我が國にも來朝し、ナンセン(ノルウェー人)は北極探検を企てた。

北極探検

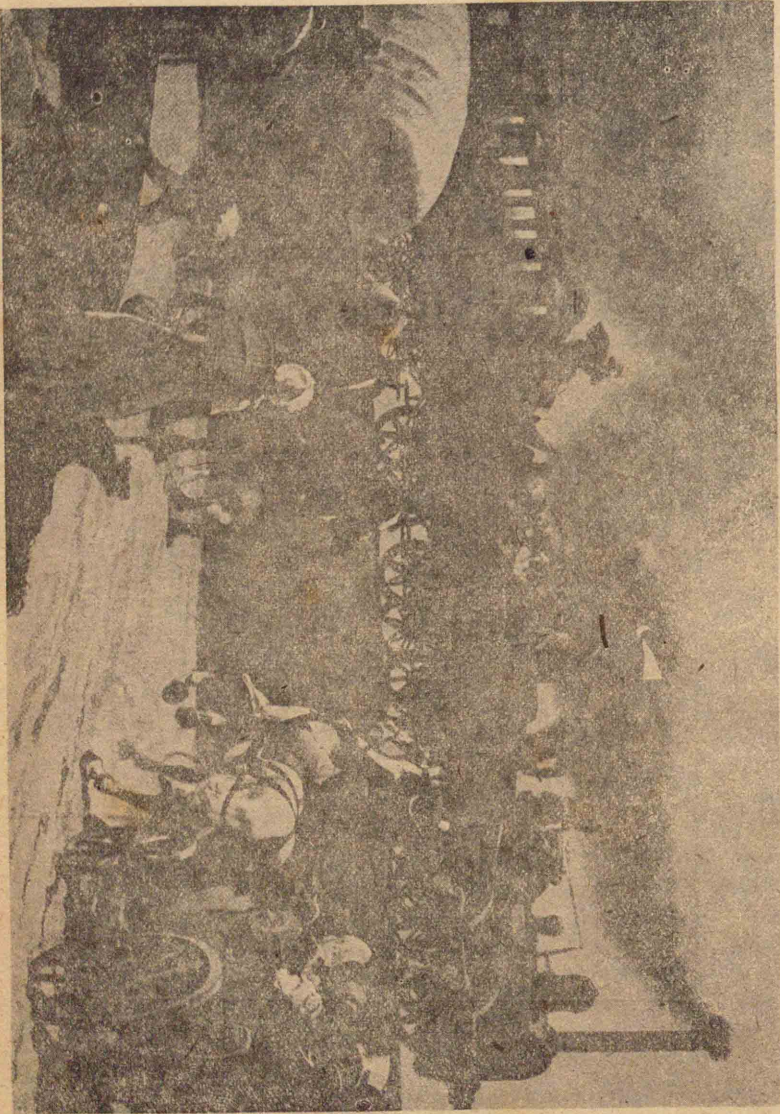
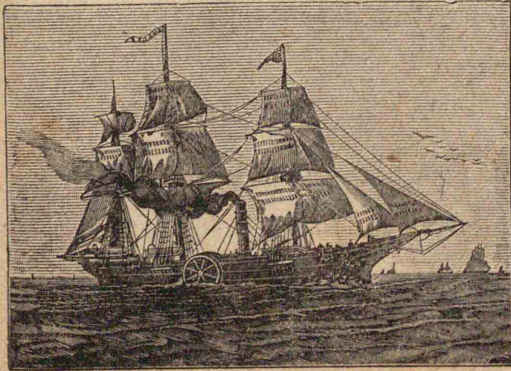
フルトン

汽船
汽車

フルトンの
船サウマン
ナ號

四 科學の應用 十九世紀の文化に最も重大な

影響を與へたものは、蒸氣力と電氣力との應用であつた。即ちフルトン(アメリカ人)は蒸氣力を船に應用して汽船を造り、次にスチヴンソンは蒸氣力を陸に應用して汽車を造り、後、リヴァープールとマンチェスターとの間に鐵道が敷設され、世界に於ける鐵道工事の先鞭をつけた。その後、電車は始めてパリで開通し、後鐵道



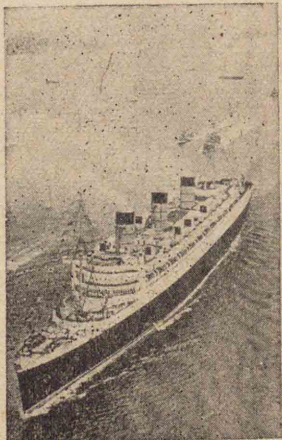
車汽の初最たれらせ轉運で國シイ

ドイツでは、一八三五年に始めてバヴァリア州のニュルンベルヒとフェルトとの間に鐵道が開通し、汽車が運轉されることとなつた。この圖は當時の實況を寫したものである。當時使用した列車は、乗合旅行馬車の車體を三個連結したやうに構造されてゐた。そしてこの三室内で旅客は向ひ合せてに座席を占め、左右兩方面に窓を作り、その中間に昇降口を設け、荷物は屋根の上に載せ、車掌が毎列車の前方に乗つてゐるところは、全く乗合旅行馬車式である。軌道側の道路を疾走してゐる馬車馬が汽車の音響に驚かされて飛上り、犬は吠え、往來の老婆や兒童が驚異の眼で新式の交通機關を凝視してゐる有様を思ひ合せると、當時の光景がありありと眼前に浮んで來るやうである。

も電化された。

アメリカ合衆國の南太平洋洋線北太平洋洋線カナダの太平洋線、ロシアのシベリヤ線小アジアのバグダード線などは大陸貫通鐵道線の最も有名なものである。

汽船もタービンやディーゼルエンジンの發明使



用によつて漸次その形體を大にし、その速力を快速にすることに成功した。大西洋上を航行するノルマンディー號Normandie（フランス）やクインメリー號Queen Mary（イギリス）の如きはいづれも排水量七萬噸、速力三十海里の大型快速の汽船である。

電氣力はモースMorse（カ人）によつて金屬線に應用されて電信機となり、その後英佛間に最初の海底電線が沈設され、Submarine Telegraph Cable（イタリヤ人）は無線電信を

發明し、ついでドフォレストDe Forest（カ人）は三極真空管を發明してラヂオを完成した。この外オートマーメルゲンターラーOtmar Mergenthaler（リカメ

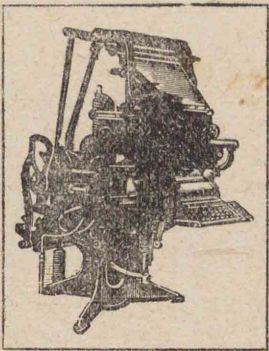
ラハムベルGraham Bell（カ人）は電話機を改良し、エヂソンEdison（カ人）は白熱電燈蓄音機などを、またマルコニーMarconi（イタリヤ人）は無線電信を發明し、ついでドフォレストDe Forest（カ人）は三極真空管を發明してラヂオを完成した。この外オートマーメルゲンターラーOtmar Mergenthaler（リカメ



クインメリー
リー號

研究中のエ
ヂソン

人)はリノタイプ印刷機を發明し、後、これに改良を加へて新聞紙の發行を迅速簡便にした。その上兵器の改良進歩もまた著しく、水雷綿火薬速射砲後裝連發銃などが盛に使用されるやうになつた。



リノタイプ印刷機

世界大博覽會

世界共通事業

都市に開催された。またジュネーヴの規約に基づき、戦時傷病者を救護する目的で、^{一八六四}萬國赤十字社が創立され、我が國もまたこれに参加してゐる。この外、^{一八七〇}萬國郵便同盟、^{一八七五}萬國電信同盟、各種學藝上の會議、^{一八九一・九二}萬國平和會議などが相ついで開かれ、各種の國際的の會合は次第に頻繁となつて來た。

第五篇 最近世史

(十九世紀末より現代に至る)

最近世期は一八七八年のベルリン會議から今日に至る六十餘年間を含み我が明治天皇の明治十一年即ち支那清朝徳宗の光緒四年から今日に及んでゐる。

この期の初めにヨーロッパでは三國同盟と三國協商とが成立して、よくその均勢を保つてゐた。そこで列強は世界政策を唱へて、アフリカ、アジア、太平洋方面に植民地を開拓するやうになつた。然るにドイツの國力が非常に發展したので、ヨーロッパの均勢は動搖を招き、不安陰鬱な空氣は漸く濃厚となつて來た。加之ロシア、オーストリア兩國間のバルカン半島に於ける利害關係の衝突、イギリス、ドイツ兩國間の實力競争、フランス、ドイツの兩國間の反目など、種々錯綜した原因がこれに働きかけて、遂に前古未曾有の世界大戰の勃發を見ることとなつた。

大戰の結果、世界は改造され、民族自決主義に基いて數多の小共和國が建設された。しかし、いづれの國も戦後の經營と復舊事業とに悩まされ、戦債會議、安全保障會議、軍縮會議、世界經濟會議などが次から次へと開かれ、種々な協定も出來たが、根本的にその難問を解決することは容易でなかつた。また最近イタリヤに於けるムソリーニのファシズム運動や、ドイツに於けるヒトラーのナチス運動などによつて、獨伊は次第に強大になつ

たので、ヨーロッパの國際關係は悪化して一觸即發の危機に直面するに至つたが遂に一九三九年歐洲戰爭が勃發した。加之アメリカ合衆國の軍備大擴張と太平洋方面に於ける進出と、ソヴェトロシアの極東方面に於ける戰備の充實などは支那事變と相俟つて、東亞の政局を益々紛糾させ多事ならしめたので、我が國の任務は愈々重大化して來た。文藝科學は前期から引續いて間斷なく進歩發展し科學の應用もまた大規模となつて來た。

第十三章 歐米諸國の世界政策

列強の植民政策

●列強の海外發展の由來 十九世紀後半になつて、人口の激増と、製品の過剰とを調節し、同時に資源を開發する爲に、歐米の諸國は世界政策を採り、盛にアフリカ・アジア・大洋洲などに植民するやうになつた。

リヴィングストンとスタンリーとの探検旅行

●アフリカの分割 リヴィングストンやスタンリー(共にイギリス人)等のナイル河上流地方の探検以來、西ヨーロッパ諸國民はアフリカ大陸の分奪を企てたので、今や廣漠たる地方は、殆どその植民地若しくは保護領

と化した(リベリヤなどを除く)。

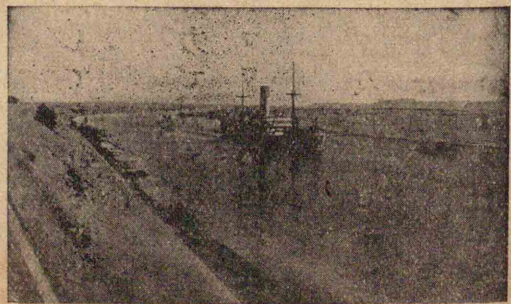
(a)イギリス イギリスはオランダからケープ植民地を購ひ、ついでエジプト太守の所有せるスエズ運河會社の株券を一手に買収して、その勢力を伸

スエズ運河

オランダ自由國とトランスヴァール共和國との併合

とした。やがてケープ植民地の北方にあるオレンジ自由國とトランスヴァール共和國とを征服してイギリス領となし、これ等の二國とナタール・ケープ植民地とを併せて南アフリカ聯邦をつくり、總督を任命してこれを統治させた。爾來イギリスは南北を連結せるアフリカ縦貫鐵道を殆ど完成して、偉大な勢力を大陸に扶植してゐる。

スエズ運河はフランス人レセブスがエジプト太守の助力の下に一八五九年四月起工し、一八六九年に竣成したもので、全長約百五十軒、東西兩洋の交通路はこれが爲に著しく短縮された。



フランスの植民地

サハラ沙漠



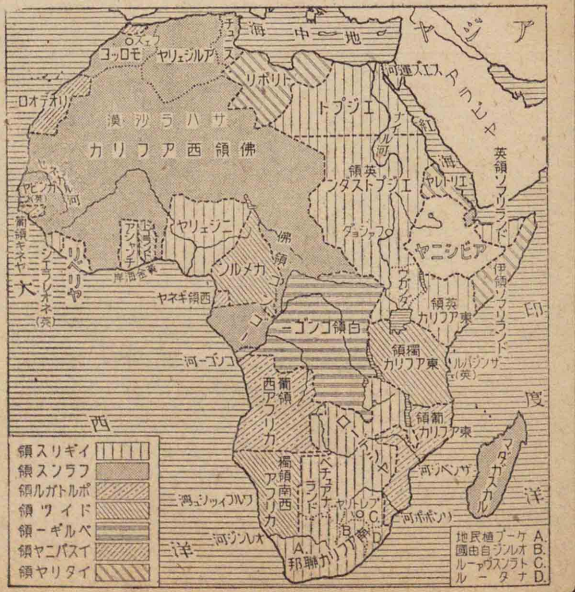
(b) フランス フランスはアフリカの北岸なるアルジェリアを領してから、隣邦チュニスを保護國とし、ついでサハラ砂漠とその南部一帯の地方とを略し、更にマダガスカル島を併せた。その上フランスは一旦ナイル河上流の地(エチオピア)を占領したが、イギリスの強硬な抗議によつてこれを放棄した。その後モロッコ國の内亂に乗じ、出兵してこれを鎮め、遂にこの國を保護國とした。

(d) イタリア イタリアはエリトリア、ソマリア、トリポリを領有した。
 (c) ドイツ 宰相ビスマルクの努力で、カメルント、トランド、南西アフリカ及び東アフリカの四植民地を得た。
 (e) 白葡西三國 ベルギーはベルギー領コンゴを、ポルトガルはギネ

アフリカ分制圖

ヤ及び葡領東アフリカ、葡領西アフリカを領有し、イスパニヤはリオデオロ及びモロッコの一部を領有した。

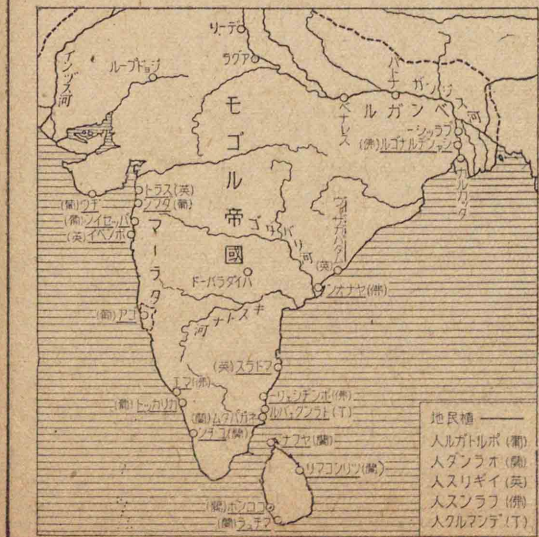
◎ アジヤの分割 アジヤは世界中最大にしてかつ最も早く文化の光彩を放つた大陸であつた。さうして我が國人を始め、印度人、支那人、ペルシヤ人、アラビヤ人等が、或は宗教、哲學に、或は文藝科學に、或は農業工業に多大の貢獻をしたばかりでなく、時には彼等の勇猛にして大膽な遠征によつて、ヨーロッパの天地を震撼させたこともあつた。然るに十九世紀の中葉以來、産業革命がヨーロッパに勃發してから、最新科學の應用が各方面に行はれ、物質文明は長足の進歩發展を



遂げたにも拘らず、アジアの大陸はかかる文明の恩澤に浴すること
 がなかつたので、自ら落伍者となり、在來の文明は萎靡不振の悲境に
 陥り、やがてその大半はヨーロッパの列強國によつて分奪され、現時歐
 米諸強國と伍して、眞に對等の地位を保持し得るものは、ひとり我が
 帝國あるのみである。

(a) イギリスの印度及び南清經營

イギリスはクライヴやヘースチングス
 以下歴代知事の努力で、モゴル帝國
 の衰運に乗じ、印度の大半を領し、東
 印度商會にこれを統治せしめてゐ
 た。しかし土兵の一揆を鎮めてから、
 イギリスは自らこれを統治し、殊に
 ヴィクトリア女王は印度帝國をつく
 り、自ら印度皇帝の位に即き、この地



印度土兵の一揆

印度に於けるイギリス・フランス衝突

イギリスの南亞及び東亞に於ける活動

ロシアの中央アジア經營

アジアに於けるイギリス・ロシアの對抗地圖

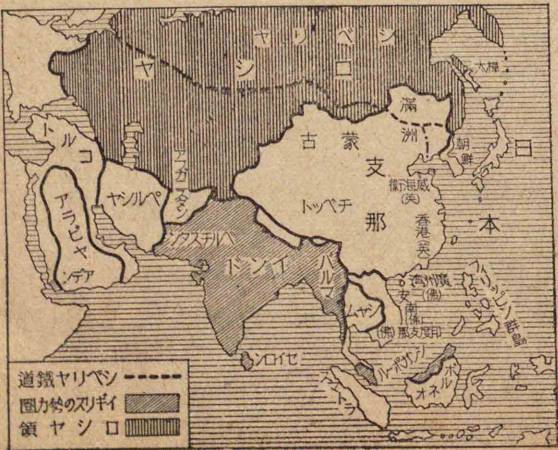
方をイギリスの直轄地とした。

これよりさき、イギリスはシンガポールを買入れ、鴉片戦役で香港
 を取り、更に北京條約で香港の對岸にある九龍を得た。これからベル
 チスタンを保護國とし、バルマを併せ、更に日清戦役後、清國から威海
 衛を租借し、更にチベットにもその勢力を扶植した。

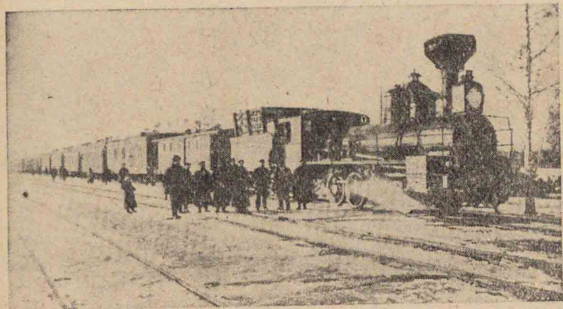
(b) ロシアの中央アジア及び極東經營

ロシアは中央アジアに入り、ブカラ・キウ・兩國を保護國とし、アフガニスタンに入り、イギリスと衝突して失敗した (一八七九年アフガニスタンの境界を協定)。

當時ペルシヤには内紛續出して國運が失墜してゐたので、英露兩國はこれに干渉して秩序を回復した後、兩國間に條



約を結んでアフガニスタンを緩衝地帯とし、ベルシヤを三分し、北部はロシヤの、南部はイギリスの勢力範囲とし、その中部を中立地帯とした。



シベリヤ鐵道の郵便列車

ロシヤの關東州租借及びその權利の讓渡

シベリヤの東部の拓殖はムラヴィヨフの努力で大いに進展し、後愛
蕪條約で黒龍江以北の地を得、ついで北京條約の
締結に斡旋した報酬として烏蘇里江以東の地方
を取り、ウラヂオストクに築港して海軍の根據地
となし、更に我が國に千島を讓渡して樺太を得た。
日清戰役後、ロシヤは獨佛兩國と共に我が國に干
渉し、一旦遼東半島を清國に還させ、後、その一部な
る關東州を自ら租借した。さうして東清鐵道を敷
設してシベリヤ鐵道と連絡を保ち、滿洲を露化す
ることに努めたが、日露戰役の失敗によつて、その
租借權を我が國に讓つた。その後ロシヤは蒙古と

露蒙條約を結んで、内外蒙古に保護を加へた。

(c) 佛獨兩國のアジヤ經營 フランスのナポレオン三世は、越南國人が屢
フランスの宣教師を虐待したのを憤り、兵を出して西貢を占領し、越
南王に交趾の地を割讓させ、ついでカンボヂヤをも保護國とした。

その後、フランスは侵略の歩を進めて、恣に東京地方に駐兵し、やが
て越南軍を破り、王をして東京の地を割き、かつ越南がフランスの保
護國たることを認めさせた。然るに清はこれに異議を唱へて清佛戰
争を起したが、結局敗れて、この和議を認めた。

フランスは更に支那の雲南廣西地方にもその勢力を扶植し、日清
戰役後、廣州灣を租借した。

フランスは現時なほ印度でボンヂシエリー・シャンデルナゴル以下の諸地方(面積百九十九
千餘人)を領有してゐる。

ドイツは膠州灣を租借して青島に海軍根據地をつくり、その勢力を支那の内地に扶
植することに努めた。

越南に於けるフランス勢力の侵入
清佛戰爭

ドイツはトルコ皇帝の許可を得て、
 亞を連絡するバグダード鐵道の敷設に
 着手中、世界大戰の勃發に妨げられて一
 時工事を中止したが、敗戦の結果、その權
 利をイギリスに譲渡するに至つた。

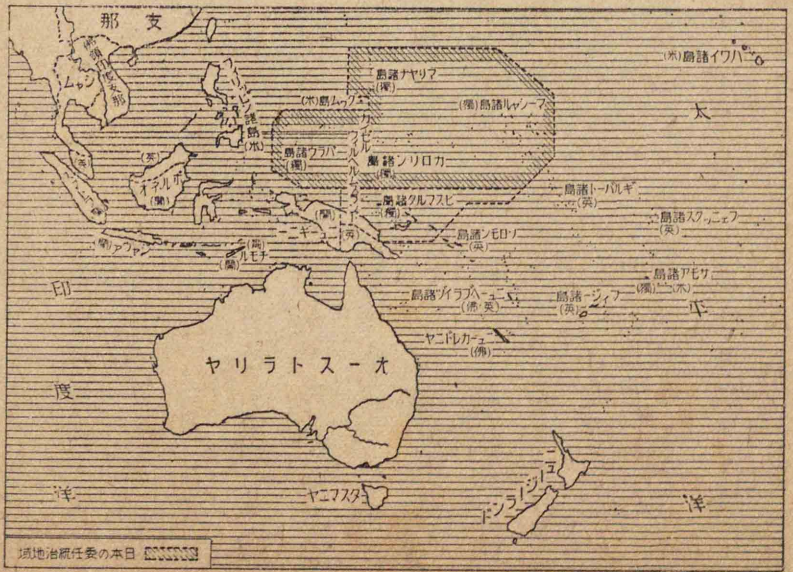
大洋洲諸島の分割

大洋洲分割圖

イギリスの所領

ドイツの所領

④大洋洲の分割 イギリスのオーストラリアに於ける植民事業は十九世紀中葉以來著く發展して、オーストラリア聯邦を組織し、The Commonwealth of Australia、New Zealand、ニュージーランドとフィジーとの全部、ニューギニー及びボルネオ兩島の一部を領してゐる。
 ドイツはカイゼル・ウィルヘルムスランド、ビスマルク諸島、マーシャル



フランスの所領
 オランダの所領

ル諸島とを有し、マリアナ・カロリン・バラウの三諸島をイスパニヤから購入し、なほサモア諸島の一部をも取つた。さうしてフランスはニューカレドニアの一部を、オランダはニューギニー及びボルネオの一部を領してゐる。

⑤アメリカ合衆國の太平洋進出 合衆國は早くからモンロー主義を唱へて來たが、殖産興業の發展に伴ふ過剰な製品を賣却すべき新市場を求め、爲に、帝國主義を採用して太平洋進出を企てた。即ちアラスカ(面積約五七七、三四〇方哩)をロシアから購ひ、ハワイの革命に干渉してこれを併合し、更にサモア諸島の一部を領有した。ついでイスパニヤ領のキューバ島とフィリピン諸島との住民が叛亂を起したのを援け、イスパニヤを破つて講和した。さらして合衆國はキューバを保護國とし、ポルト



リコ島、フィリピン諸島とガラム島とを併合した。その後、大統領ルーズベルトは大いに軍備を

米西戦争

ルーズベルト

パナマ運河の開鑿

パナマ運河

擴張し、更に巨費を投じてパナマ運河を開き、優勢な艦隊を以て太平洋上を威壓しようとした。

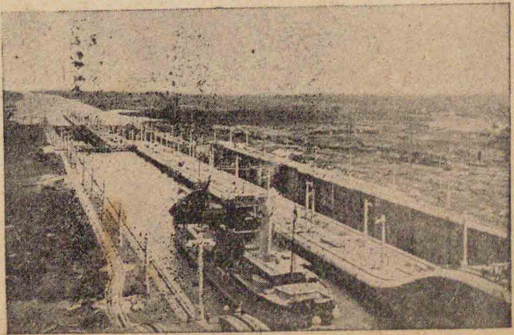
第十四章 世界大戦

(a) 大戦前に於けるヨーロッパ

國際關係の變化

三國同盟と二國同盟

三國同盟と二國同盟 獨帝ウイリヤム一世は
獨(フランシス)露(アレクニ世)兩國の君主と三帝同盟
を組織し、フランスに備へてゐた。然るにベルリ
ン會議以後、獨露の關係は大いに疎隔したので、ビスマルクは巧みに
イタリヤを招き、遂に獨、伊、三國間に三國同盟を結んだ。そこで暫く
孤立してゐたフランスは、ロシヤと二國同盟を結んでドイツに對抗
した。これ等の兩同盟はいづれも防禦的で、爾後二十餘年間歐洲列強
間の勢力均衡を保つ上に役立つた。

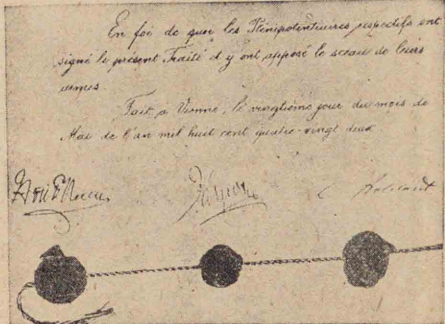


明朝五年、伊藤博文が、五洲に派、道にされ、た朝鮮の京城に遊

萬國平和會議の失敗

三國同盟條約の未文(三國の調印)

第二回萬國平和會議のポスター



ヨーロッパの均勢を破るやうになつた。英王エドワード七世はこれを憂ひ、光榮ある孤立を棄てて、遠くは我が國と日英同盟を結び、近くは佛露兩國と所謂三國協商を約してこれに對抗した。
三國協商 Triple Alliance
獨伊兩國とバルカン半島 オーストリヤはその勢力をバルカン半島に扶植する爲に、ドイ

イギリスと三國協商 イギリスは「光榮ある孤立」を誇り、單獨でこれ等の兩同盟に對抗してゐた。しかし萬一に備へる爲、各國は軍備の充實と擴張とに努め、殊にハーグに於て開かれた前後二回の萬國平和會議が失敗に終つてからは、その傾向が烈しくなつた。然るにドイツの急激な軍備の擴張充實とその國力の異常な發展とは、ヨーロッパの均勢を破るやうになつた。英王エドワード七世はこれを憂ひ、光榮ある孤立を棄てて、遠くは我が國と日英同盟を結び、近くは佛露兩國と所謂三國協商を約してこれに對抗した。



伊土戦役

ツ後援の下にロシヤの反対を抑へて、ボスニアヘルツェゴヴィナ二州を併合した。イタリヤはこれを見て大いに憤り、突然トルコに對してトリポリの讓渡を要求したが、容れられなかつたので宣戦した(一九一二年)。さうしてイタリヤはトルコ軍を粉碎した後、トリポリを獲得して講和した。

バルカン戦役

バルカン半島内のブルガリア・セルビア・ギリシヤ・モンテネグロの四國はトルコの衰運に乗じ、各その領域を擴張しようと思ひ、さきに暴動を起したマケドニア・アルバニアを援けてトルコに宣戦した(一九一二年)。この役四國の聯合軍は到る所に勝つたので、



世界大戦の三遠因

憂愁に沈む
オーストリア皇帝
世界大戦の近因



トルコは遂に屈してロンドン條約を結び、廣大な土地の割讓を約して講和した。爾後汎スラヴ主義(指國に散在せるスラヴ民族を統一し、ロシヤの)と汎ゲルマニヤ主義(ドイツの主宰の下にゲルマニヤ民族を統一し、大帝國を創立しようとする主義)とが、スラヴ・ゲルマニヤ兩民族の雜居せるバルカン半島内で相對立抗争することとなつた。

世界大戦の原因

前に述べたやうに、英獨兩國の制霸的の競争と、バルカン半島に於ける汎スラヴ主義と汎ゲルマニヤ主義との衝突と、プロシヤフランス戦役以來獨佛兩國間に醸されてゐた反目敵視の念とを遠因とし、オーストリアの皇儲夫妻がセルビヤ系の一青年の爲にセライェヴォで暗殺されたのを近因として本戦役は起つた。オーストリアは皇儲の暗殺に憤激して、極めて強硬な最後通牒を送つたが、セルビヤがこれを容れなかつたのを理由として宣戦した。ついで

ドイツ潜航艇の活躍



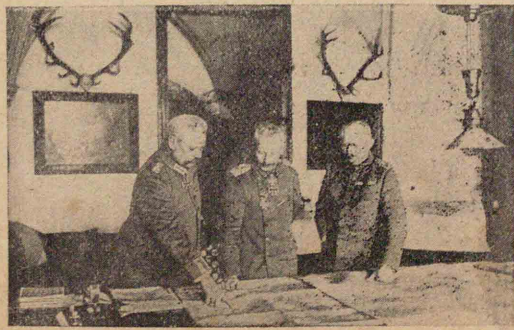
世界大戦の勃發

ドイツ大本營に於ける
ウイリヤム二世(中央)
とヒンデンブルグ元帥
(左)

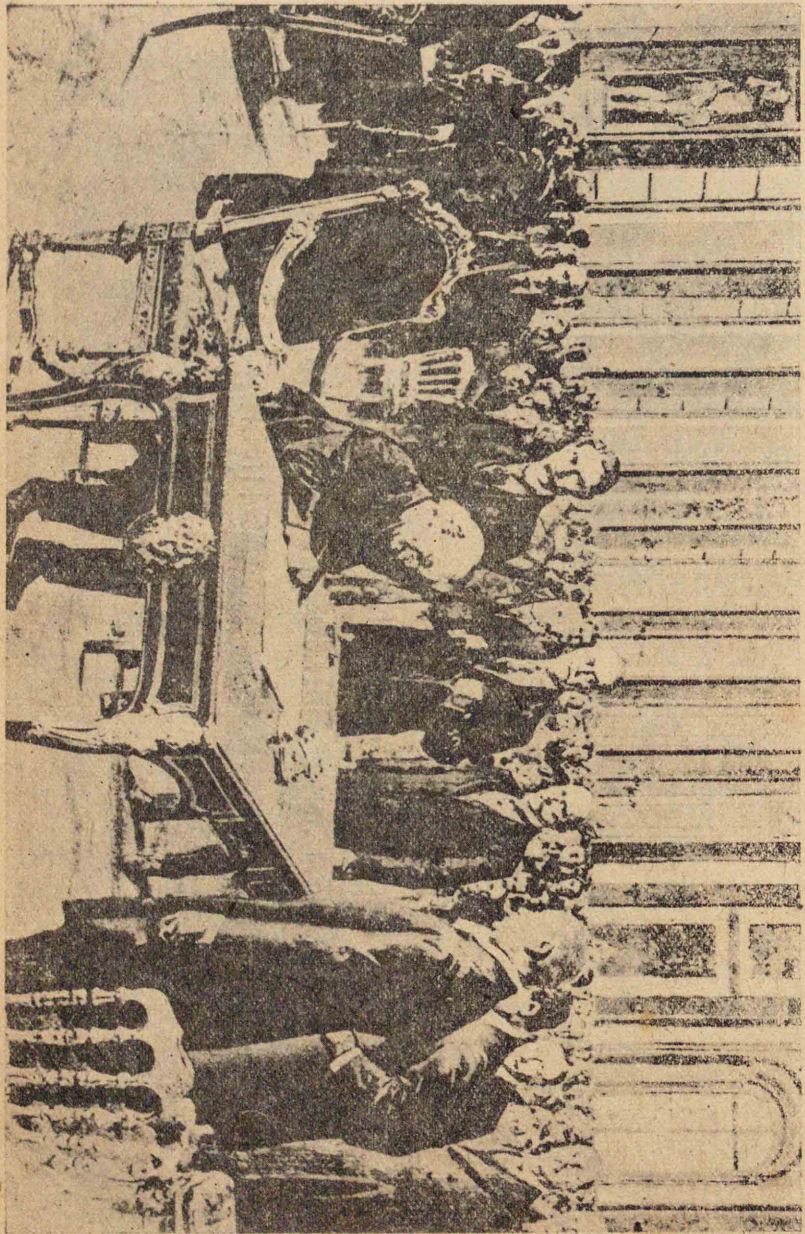
ジル・支那などの諸國もまた相前後して聯合軍に参加し、トルコ、ブルガリヤなどは同盟側に加はつて、ここに空前の大戦役となつた。

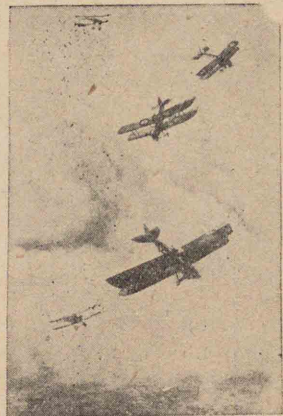
●戦況と講和 大戦は四年半に亘り、獨逸を中
心として東西兩國境方面、バルカン半島方面、北
部イタリヤ方面に展開して勇猛に行はれたが、
結局持久戦と化したので、獨逸側は大いに窮し、
西方戦場で行はれた最後の一大攻撃が失敗に終

でドイツはオーストリアを援けて露佛
兩國に宣戦し、イギリスはドイツがベル
ギーの中立を侵したことを責めて奮起
し、我が國は日英同盟の誼を重んじて宣
戦し、イタリヤ・ルーマニア・ポルトガル・ア
メリカ合衆國・ブラ



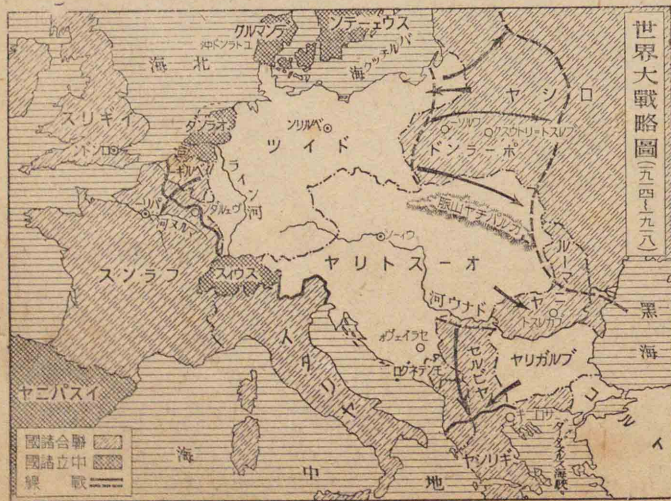
景光の名署約條和講獨對るけ於にユイサルエダ





國を立てた。さうしてドイツ新政府は
 聯合國側の提示した休戦條約を承認
 して戰鬪を終結し、關係諸國との間に
 ヴェルサイユで講和條約を結び、オース
 トリヤ・ブルガリヤ・ホンガリヤ・トルコ
 の四國もそれぞれ和議を締結した。

第十五章 大戦後に於ける
 國際情勢



世界大戦略圖(五四五八)

つてから總崩れとなり、ブルガリヤ・トルコ
 はまづ休戦し、ついで獨逸兩國内に革命が
 勃發し、いづれも皇帝を廢して共和

本圖は一九一九年六月二十八日ヴェルサイユ宮殿鏡の間に於て對獨講和條約に署名する光景を寫したものである。條約の正文は都合四通で、鏡の間の中央部に設けられた二箇の机の上に二通宛置かれてある。中央の椅子に着し極めて謹嚴な態度でペンを取つて條約文に署名しつつあるは、英の首相 ロイドジョージで、順次署名する爲に机の前に列立せるは英の代表委員ボナー・ロー・パルフォア・ミルナー卿・ヒューズ、ボタ・スマツ兩將軍である。

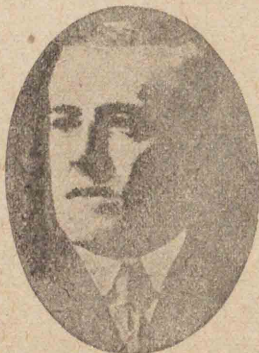
新興の七國

●世界の改造 大戰後の世界は敗戦國の領土の縮小と新國家の出現とで戦前に比して非常に變化した。即ちドイツ・オーストリア・トルコ等の敗戦國は、いづれもその領土の一部を戦勝國若しくは新興國に割譲し、その陸海軍の實力を削減し、かつ巨額の償金を支辨するこ
とを約束した。次に民族自決主義に基いて、新たにポーランド(舊イッシャ
一部を含む)チェコスロヴァキヤ(舊オーストリアヤホ)ユーゴスラヴィヤ(舊セルビ
一部を含む)フィンランド(舊ロシアの一部)エストニア(舊ロシア)ラトヴィヤ
リトワニア(舊ロシア)などの諸國が出来た。
イギリスは名義上エジプトを保護國とし、パレスチナ・メソポタミ
ヤ獨領東アフリカの大部(植民地)カメルントゴランドの一部を委任
統治し、南アフリカ聯邦は獨領南西アフリカを、オーストラリア聯邦
は獨領ニューギニー及び赤道以南の太平洋上に於ける獨領の諸島(モサ
ア島を)を委任統治し、フランスはシリヤ及び獨領カメルントゴランド
の大部を委任統治することとなつた。

我が國の委任統治と膠州灣租借權の獲得

ウイルソン

フィウメの所屬問題



我が國は赤道以北の太平洋上にあつた獨領の諸島を委任統治し、かつドイツが山東半島に於て有してゐた膠州灣の租借及び鐵道鑛山海底電線などに關する一切の特權を得た。

●國際聯盟

國際聯盟はパリ講和會議で合衆國大統領ウイルソンの首唱に基いて成立し、國

際間の協力によつて、戰爭を避け世界の平和安寧を保つことを目的としてゐる。さうして英佛伊を始め、世界に於ける大小五十餘國はこれに

加入してゐるが、アメリカ合衆國は最初から加入を拒み、我が國及びドイツ・イタリアは中途から脱退した。

●條約實施上の紛争

講和成立後、イタリアはアドリア海に乗り出し、フィウメを占領してユーゴスラヴィヤと紛擾を醸したが、兩國の協定に基いて、イタリアがこれを併せた。

トルコでは國民黨の領袖ケマルパシヤが講和條約の實行を拒み、兵

ケマルパ
シヤの奮起
とローザン
ヌ條約

ケマルパ
シヤ



を出してギリシヤ軍を破り、フランスの仲裁で
休戦し、關係諸國とローザンヌ條約を結んだ。こ
の條約で、トルコは前條約の規定よりややその
境域を擴張し、領土的にも民族的にも統一した
新國家を建てることが出来た。

その後政府は民意を容れ、帝政を廢して共和政體とした。ついでケマルが大統領に當
選して、回教教主を廢し、鋭意政治の改善と國力の回復とに努めた。

ルール問題
とドーズ案
ヤング案の
成立

④ドイツの賠償問題とロカルノ條約 ドイツは財政困難を理由と
して賠償金(我が六百六十億餘圓)支拂の猶豫を懇請した。佛白兩國はその不誠實
を責め、ドイツの工業の中心地であるルール地方を軍事的に占領し
た。英米國はこれを遺憾とし、佛伊白の諸國とロンドンでドーズ案に
基いた賠償金支拂法を協定し、ドイツをしてこれを採用させた。そこ
で佛白の聯合軍はルールを撤退して、これをドイツに還した。これか
らドイツは賠償金を拂つてゐるが、ヤング案の成立により、その賠償
額は著しく輕減された。

Young Plan

ロカルノ會
議

ドイツの國
際聯盟加入

額は著しく輕減された。

ドイツはローザンヌ會議の結果賠償金の代りに、ヨーロ
パ復興資金への獻金の名を以て三十億マルクを支拂ふこ
ととなつた。但し關係諸國が各自の債權國なるアメリカ合
衆國とその債務につき解決に到達しないので、その效力を
發生するに至らなかつた。そのうちドイツにヒトラー政權
が起つたので、賠償問題は未解決のままとなつた。

なほ英佛白伊獨ポランドの諸國はロカルノ

Locarno

ノ(スウイス國にある)會議を開いて、互に國境の安全を保

障し、一切の紛争を平和的に解決することを約

束した。さうしてドイツもまた列國の承認を得て國際聯盟に加入し

たので、本條約もここに始めてその效力を發生することとなつた。

⑤ワシントン及びロンドン軍縮會議 大戦後、各國共に國民の負擔

を輕くする爲に、軍備縮小熱が高まつて來た。そこでアメリカ合衆國



ワシントン
軍縮會議

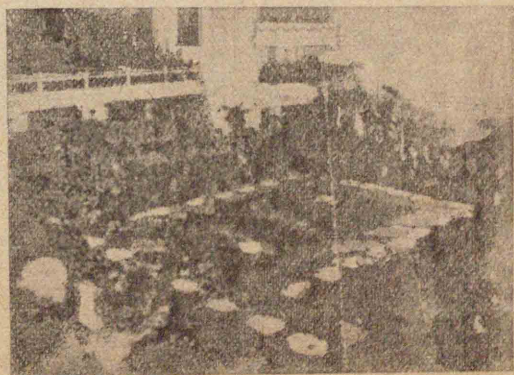
ワシントン
會議

太平洋問題
に關する四
國協約

九ヶ國條約

の大統領ハーディング（一九二一年一月）は日英佛等の諸國と交渉して、軍縮會議をワシントンに開き、更に白蘭葡支の四國をも加へて、太平洋及び極東問題をも協議した。その結果、日英米佛伊の五國は十年間主力艦建造の標準比率を三五・五・一七・五・一、七五に協定した。（補助艦—巡洋艦、驅逐艦、潜水艦には異論があつて遂に協定を見なかつた。）次に日英米佛の四國は十年間四國協定を結んで、太平洋上の平和と現状維持とを確保し、かつ太平洋上の島嶼である屬地及び領地に關する各自の權利を保つことを約し、同時に日英同盟の廢棄を公にした。さうして支那に對しては前記九ヶ國の間に條約を結んで、支那の主權獨立及び領土保全と門戶の開放とを尊重することを約束した。

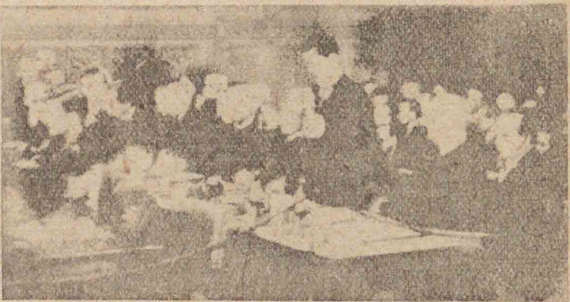
その後日英米の三國はジュネーヴで第二回軍縮會議を催したが、不



ロンドン軍
縮會議

ロンドン會
議

ロンドン軍
縮豫備會商



調に終つたので、更に日英米佛獨等の十五ヶ國は不戰條約を締結して世界の平和を促進することとした。その上、ロンドンで日英米佛伊五國間に第三回の軍縮會議が開かれたが、結局補助艦の保有量制限に關して、日英米三國間に實質的の協定を見事に過ぎなかつた。

その後ジュネーヴで一般軍縮會議が開かれ、ドイツの要求せる軍縮平等權確保の主張につき審議を重ねたが、議論は紛糾して纏らなかつたので、ドイツは遂に軍縮會議と國際聯盟とを脱退した。さうして精神的にヴェルサイユ條約によつて課せられた諸拘束を離脱し、陸海軍の制限を破棄して自由に行動すべき意志

を暗示した。
かやうに軍縮會議は停頓の状態に陥つたので、更にロンドンで日英米佛の四國間に軍縮豫備會議が開かれたが、結局不成功に終つたので、我が國は我が國防の恒久的安全を確保する爲に、ワシントン條

我が國のワシントン條約廢棄

約の廢棄を正式に關係諸國に通告して、その拘束を離脱することとした。

かかる際にドイツが突如として再軍備を宣言し、陸海空軍の再建充實に着手したのと、ロンドンで開かれた軍縮會議が不調に終つたので、國際情勢は益、險惡になつた。さうして列國は國際情勢の不安に對處する爲に、軍備の大擴張とその充實に邁進したが、一九三九年遂に歐洲に於て大戰の勃發を見るに至つた。

第十六章 列國の現勢

① イギリス エドワード七世の歿後に即位したジョージ五世は五大洲に跨つてゐる廣大な大帝國(面積約三五〇〇〇〇〇〇平方英里、イギリス本國の百十九倍)の元首として君臨し、在位二十五年間、勵精治を圖り、國運の發展に全力を傾倒し、偉大な功績を擧げた。次王エドワード八世の後を繼承したジョージ六世もまた同一方針を踏襲し、銳意全領土の平和促進と國利民福増進との

海外自治領の地位

ジョージ五世とメリー皇后

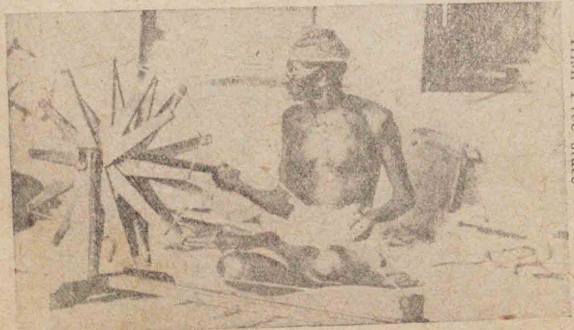
印度反英運動の領袖ガンデー



爲に努力してゐる。

大戰後、民族主義が盛になつた爲にエジプトの名義上の獨立を認め、またアイルランド(アルスター地を除く)がアイルランド自由國として、イギリス帝國の自治領たることをも認めた。

の上自治領の發達と有色人種の覺醒とによつて、海外の領土は次第に自主的に傾き、自治領は母國に忠誠であり、國王を敬愛するも、もはやその植民地ではなく、本國と平等の位置に立つこととなつた。中でも印度の各方面では、完全な自治權を得ようとしてガンデー一派のものが猛烈な運動を開始したので、政府は聯邦組織の新



憲法を制定し、國民多年の希望を實現せんとするに至つた。

内政方面では、世界的の不況によつて發生した失業者と、物價の騰貴に基づいた生活難の問題とに悩まされてゐたので、労働黨の領袖マクドナルドは前後三回、労働黨内閣と協力内閣とを組織してこれが救済に努めた。しかしロンドンで開かれた世界經濟會議及び軍縮

マクドナルド

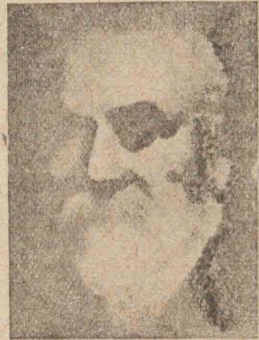


豫備會商の失敗後總辭職を行ひ、保守黨の領袖ポールドウィンとチンバレンとが相前後して内閣を組織し、銳意國力の伸張を圖つた。しかるに

歐洲大陸に於ては、ドイツ、イタリヤが歐洲の新秩序建設と舊植民地の恢復を目指して軍備の充實を圖つたので、イギリスはフランスと結んでこれに對抗しようとした。さうして一九三九年ドイツのポーランド侵攻を機として遂に英佛對獨の間に戦争が起つたが、フランスは忽ち敗北したので、イギリスは未曾有の國難に直面することとなつた。

經濟界の復興

ポアンカレ



① フランス フランスは農業國で、土地は小農に分割され、社會組織は健全であるが議會萬能の共和政治が行はれ、小黨が分立して互に相争つてゐるので政局は安定を缺いてゐる。英邁なるポアンカレが舉國一致内閣を組織してから内閣は數次交代したが、その間一方には増税と行政整理とを斷行して幣價の安定を圖り、他方には工業就中化學織物冶金工業等の發達を促進することによつて、大戦で破壊された經濟組織を再建することに成功した。これからフランス人は内には軍備を充實すると同時に國際的にはイギリスと結んで、ドイツ、イタリヤの新興國に對抗せんとした。しかしドイツのヒトラーが突如再軍備を宣言してから對獨不安の情は再び濃厚となつたが、フランスの國內政情は複雑で内閣は屢更迭し、舉國一致外敵に當ることが出來なかつた。されば一九三九年ドイツが歐洲新秩序を目指して中歐に覇を唱

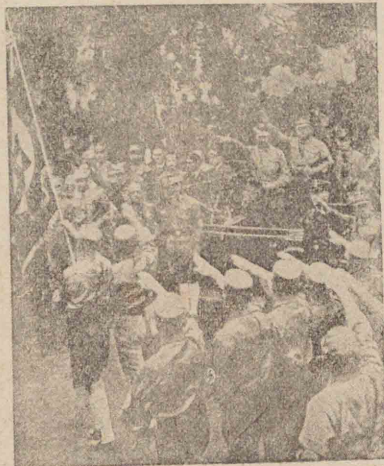
ヒンデンブルグの政治

國粹社會黨の進軍

へようとし、ポーランドと開戦するや、フランスはイギリスと結んでドイツに宣戦したが、翌年遂に敗北した。敗戦後はペダン將軍の指導の下に銳意國家の更生に努力してゐる。

⑤ドイツ 帝政の没落後に制定された新憲法に基づき、ドイツは大

小十八州より成る民主的な聯邦共和國となつた。さうして敗戦後に於ける再建事業に當つて、多大の貢獻をしたエーベルト大統領の歿後、ヒンデンブルグ元帥は第二回の大統領に選ばれた。



彼は就任後、ドーズ案とヤング案とを認めて償金の支拂を約し、金準備の新貨幣を發行して通貨の安定を圖り、ロカルノ條約に調印し、國際聯盟に加入して熱心に國運の回復に努めた。

その後國粹社會黨のヒットラーが内閣を組織してから、民族主義に基いた新ド

日獨防共協定調印
ライン非武装地帯の撤
植民地返還の希望

イツ國家の建設を志し、まづ憲法を停止して獨裁政治を行ひ、中央集權制を確立して地方行政及び警察制度に改良を加へ、新たに啓發宣傳省を設けて輿論の啓發に努め、同時に共產黨社會黨及びユダヤ人に彈壓を加へ、自黨以外の各政黨に解散を命じて一國一黨主義を貫徹した。ヒンデンブルグの歿後、ヒットラー自ら大統領の職務を兼攝し、反對者を一掃したので、政府の基礎は安定した。さうして突如再軍備を宣言し、ロカルノ條約を破棄する等、次々にヴェルサイユ條約を破つてドイツの更生に努力し、更に各種工業の原料資源の獲得の必要上、舊植民地の返還を唱へた。また汎ゲルマン主義を唱へてオーストリアを併合し、更にチエコスロヴァキヤの一部を併せたが、ポーランド問題を機として



遂に英佛と開戦するに至つた。ドイツは忽ちフランスを攻撃してこれを屈服せしめ、バルカンに覇を唱へて更にソヴェト聯邦と開戦するに至り、歐洲は全く動亂の巷と化した。

ムソリーニの獨裁政治

④イタリヤ 土地は豊沃で農産物を多量に産出するが、鐵石炭石油の缺乏と財政の困難とで、大戦後の産業は發達せず、職工は各所で同盟罷業を斷行した。かかる時代にファシスト黨の領袖ムソリーニが宰相となつて獨裁政治を行ひ、各方面に有能の材を擢用し、徹底的に國政の整理と淨化とを斷行して、公益の増進を圖つた。彼はイタリヤの發展は一に青年の活動に俟つべきであると確信し、特に小學教育を奨勵し、同時に青年團を組織して嚴肅な訓練を施してゐる。

ムソリーニ

青年團の組織

イタリヤの産業



ムソリーニは夙に産業の發達に留意し、荒蕪地の開墾、沼澤の埋立をなして耕地の擴大を圖

イタリヤの外交

り、小麥棉煙草などの栽培を盛にして農業を勵ますと同時に、レイヨン・絹織物工業・水力電氣事業を興したので、經濟界は漸次改善された。外交方面ではユーゴスラヴィヤと協定して、フィウメを占領し、ソヴェト^{一九一九年二月}ロシアを承認して自國に必要な物資の供給を仰ぎ、ローマ法王^{一九二九年二月}とラテラン講和を結び、ヴァチカン市の獨立を認めて、多年の懸案を解決した。最近ドイツのオーストリア方面進出と再軍備の斷行とに脅かされ、英佛兩國と協約してこれに對抗し、ついでエチオピア國境紛争^{一九三五年}を利用し、英佛の仲裁を拒んで、急遽大軍を彼地に派遣して、一氣に國都^{Addis Ababa}アヂスアベバを占領した後、エチオピア全土がイタリヤ領なることを正式に宣言した。

エチオピアの併合

英伊地中海協定の成立

その後イタリヤは地中海に於ける覇權を確立するため軍備の大擴張を斷行したが、そのためイギリスとの關係が險惡になつた。ムソリーニはイギリス・フランスに對抗するためドイツと結び、更に日獨伊の三國同盟^{一九三七年}を締結した。英佛と獨との間に戦争が起るや、獨につい

て參戰し、フランスを攻略し、更にバルカンを征服した。

⑤ ソヴェエトロシヤ 勞農政府は私有財産を沒收し、また國家が土地産業宗教教育などを管理することとした。しかし共產主義的施設の勵行と全世界の赤化運動とは共に失敗に終つたので、政府は漸次その態度を改め、新經濟政策を施して、或程度まで土地の私有と資本主義とを認めるやうになつた。その後全ロシヤの大小諸邦を聯合してソヴェエト社會主義共和國聯邦を組織した。

新經濟政策の採用

スターリン



Union of Socialist Soviet Republics

スターリンの政治

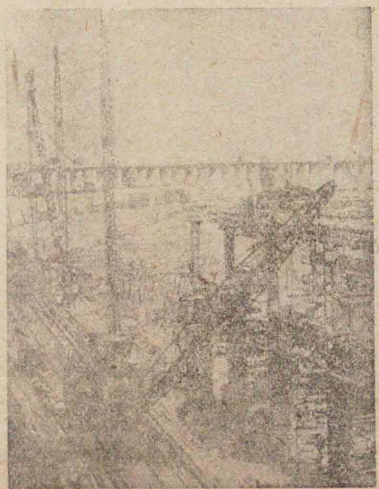
局スターリンが勝つてトロツキー派を放逐し、爾後益々自派の擴大強
化に努め、世界赤化運動を一時中止し、退いて自國の安泰を圖る爲に
廣汎に互る改革に着手した。即ち普通教育を獎勵して、學齡兒童の就
學に努め、文藝科學の發展を促し、更に國旗を制定し、曆法を改め、男女

第一次五ヶ年計畫

建築中のドニエプルのダム

第二次五ヶ年計畫

の同權と結婚の自由とを認め、新たに勞働法を制定して勞働者の權利を保證した。所謂第一次五ヶ年計畫なるものは、大規模の發電所を完成し、その電力を用ひて強制勞働を斷行し、以て全ロシヤの工業及び農業を電化し、ソヴェエトロシヤを自給自足の國とするにあつた。さうして五ヶ年間の實績は良好であつたので、更に第二次第三次



五年計畫を作成し、その計畫の實現に邁進してゐる。外交方面ではイギリスと國交を回復し、ポーランド、フランスの兩國と不可侵條約を締結し、互に結束してドイツの進出に備へ、更にアメリカ合衆國とも國交を再開して通商貿易を營み、國際聯盟にも加入して常任理事國となつた。

しかしドイツ、イタリヤの新興勢力がイギリス、フランスと衝突す

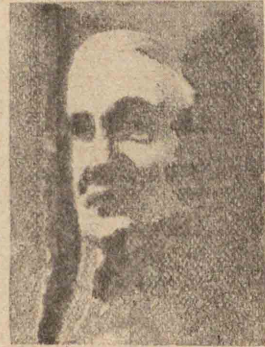
ウィルソン

ハーディング

ハーディング

クローリッヂ

新移民法の
制定



る形勢を見るや、ソヴェト聯邦は親英政策を捨ててドイツと不可侵條約を結び、最近の歐洲戦争の勃發後も中立政策をとる一方、着々各地の恢復を圖つた。しかし一九四一年遂にドイツと開戦した。

⊕アメリカ合衆國 大統領ウィルソンは國際聯盟を提唱したが、アメリカ合衆國はモンロー主義を唱へて來た關係上、これに加入しなかつた。そこで大統領ハーディングは獨逸及びホンガリヤ國と別々に講和して、國交を復し、更にワシントンで軍縮會議を催して多大の効果を齎した。さうして汎米主義を鼓吹して中米の五共和國を指導することに努めた。

大統領クローリッヂは外交方面ではメキシコとの國交を回復し、内政方面では保護關稅政策を實行して、内地産業の發展を促したと共に、教育にも留意し、國人をアメリカ化することに努め、新たに移民法を制定してアジヤからの移民を禁じ、東南ヨーロッパからの移民を制限

フーヴァー

大統領ル
ズヴェルト

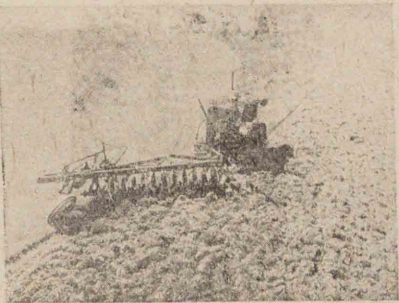


し、素質の最も優良な西ヨーロッパからの移民を歓迎することとした。大統領フーヴァーは就任後間もなく世界的の大不景氣に悩まされ、失業者が續出したので、これが救済策として工業製品並に農産物に對する關稅率を引上げた。やがてドイツが經濟危機に逢着したので、これを救助する爲に所謂フーヴァー支拂猶豫なるものを發表して、一年間ドイツ國の戰債その他の支拂を猶豫させたが、十分の効果を奏するに至らなかつた。

かやうにして共和黨の信用は著しく衰へたので、民主黨のルズヴェルトが遂にフーヴァーに打勝つて大統領の榮冠を得た。彼は就任早々當面の内政的難局打開の爲に、從來の個人主義を棄てて衆團主義を採り、全國的な計畫經濟へ轉向せんとして、所謂ニューディールと稱する新經濟政策を斷行した。即ち彼は金本位制を停止し、平價の切下げを斷行して物價の昂騰を策すると同時に、各種の産

業を興して失業者を救済し、ついで労働時間を短縮し、最低賃金の尺度を定め、鋭意國難の打開に邁進して相當の効果を擧げた。彼はソヴィ

農業の機械化



エトロシアを承認して兩國の親善關係を回復し、中米及び南米の諸國に對しては制霸的の干涉を避け、國際善隣主義に基づき、諸國間の共同の福祉を増進することに協力した。彼はフリーピン^{一五三}獨立案を裁可し、キューバ^{一五四}と新條約を締結して、兩國が完全な獨立國たることを承認した。(フリーピンは一九四四年から完全な獨立國となる。)彼は任期満了後、更に壓倒的多數を以て大統領に再選されたので、内に於ては中央行政機構を根本的に改革し、軍備の充實に努め、外に對しては英佛と提携して日獨伊の新興諸國家に對抗しようとした。最近の歐洲戰爭が起るや、ルーズヴェルトはドイツ、イタリヤに對抗して英佛を援け多大の物資や軍需資材をイギリスに送つた。他方太平洋に對しても關心を怠らず、蔣介石政權を援助し、

更にハワイに艦隊を集結して暗に我が國に備へようとした。彼は一九四〇年前例を破つて大統領に三選されるや、援英政策を益強化し、今や參戰の一手手前まで進んでゐる。また獨ソ戰爭に際してはソヴィエト聯邦を援けてドイツを抑へようとしてゐる。

第十七章 現代の國家とその文化

●現代の國家 世界大戰直後、世界の各方面に共和民主と平和協調主義とが唱へられ、帝國主義は一時その影を潜めたが、國家非常時には獨裁政治が却つて難局を打開し得るといふ見地から、最近國家主義獨裁主義の運動が頻りに行はれ、ファシズムとデモクラシーとが世界的に相對立するに至つた。

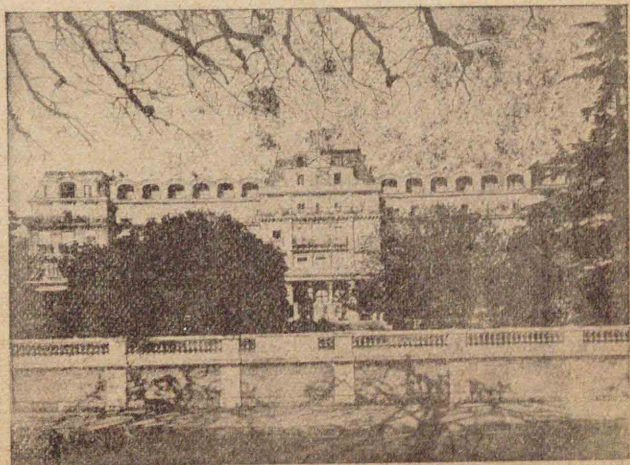
次に國際主義もまた大戰後に著しく擡頭し、國際間の協力によつて世界の秩序と安全とを保護しようとした。かの國際聯盟や國際労働會議の如きは即ちこの主義に基いたものである。然るに最近武力

國際聯盟會
館

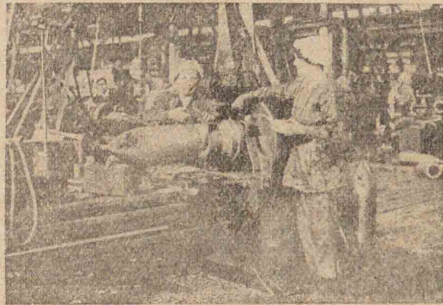
女子參政權
問題

を背景とする外交が擡頭し、國際道德を輕視するやうになつた。さうして經濟方面でも統制主義が自由通商主義を排除せんとするに至つた。

女子が男子と同様に參政權を得るに至つたのも、また現代に於ける政治上の新現象である。即ち大戰以來參戰諸國の女子は軍務に服し、或は看護救濟の事業に努め、または武器軍需品の製作に當つて偉大な貢獻をしたので、戰後その功勞に酬いる爲に、イギリス・アメリカ合衆國・ドイツ・ソヴェト・ロシアの諸國ではいづれも女子に參政權を與へた。その上、イギリス・アメリカ合衆國では政治的社會的に男女の同權を認めたので、その他の諸國でも漸次これに倣ふやうになつた。



大戰中婦人
の活動



産業革命以來世態は著しく變化し、殊に家内工業は工場工業化したので、婦人も男子と共に戶外の職務に従事した。その結果婦人の社會的地位は著しく向上し、男女の同權を主張し、更に進んで教育職業及び政治上の自由平等を要求するに至つた。さうしてノルウェー・スウェーデンなどの諸國では、大戰以前に於て既に婦人に參政權を與へるやうになつた。

現代文化と
科學の力

現代の文化 輓近に於ける科學の進歩ほど現代の文化に偉大な影響を與へたものはあるまい。さうして十九世紀の末から現代に至るまでの科學の進歩と、その廣汎に互る應用とによつて社會の狀態は一變された。しかし西洋物質文化の半面には、浮薄享樂的な氣分が含まれてゐるので、その弊害もまた決して少くない。かくて西洋の識者の間には大衆の教育を奨励し、殊に東洋の精神文化を加味して、そ